
熊 谷 市

下 田 町 遺 跡 IV

大里地区高規格堤防整備事業関係

埋蔵文化財発掘調査報告

—Ⅳ—

(第2分冊)

2 0 0 6

国土交通省 関東地方整備局

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

目次

(第1分冊)

口絵

序

例言

凡例

目次

I 発掘調査の概要	1
1. 発掘調査に至る経過	1
2. 発掘調査・報告書作成の経過	2
3. 発掘調査・整理・報告書刊行の組織	4
II 遺跡の立地と環境	5
III 遺跡の概要	11
IV 遺構と遺物	22
1. 方形周溝墓	22
2. 堅穴住居跡	56
3. 掘立柱建物跡	208
4. 井戸跡	214
5. 性格不明遺構	238
6. 土坑	248
7. ビット	281

(第2分冊)

8. 溝跡	317
9. 道路状遺構	413
10. 谷部	414
11. グリッド・表探遺物	462
V まとめ	473
1. 遺構の変遷	473
2. 下田町遺跡の方形周溝墓について	477
3. 下田町遺跡の木材利用	479
4. 第2～5次調査のまとめ	484
VI 下田町遺跡の自然科学分析	487
1. 下田町遺跡の自然科学分析(遺構編)	488
2. 下田町遺跡の自然科学分析(遺物編)	497
付編(下田町遺跡検出遺構全索引)	512
写真図版	
付図	

插图目次

(第2分册)

第307图	沟迹·道路状遺構全体图(1)	318	第341图	沟迹(11)	368
第308图	沟迹·道路状遺構全体图(2)	319	第342图	沟迹(12)	369
第309图	沟迹(1)	320	第343图	沟迹出土遺物(17)	370
第310图	沟迹(2)	322	第344图	沟迹出土遺物(18)	371
第311图	沟迹出土遺物(1)	324	第345图	沟迹(13)	372
第312图	沟迹出土遺物(2)	325	第346图	沟迹(14)	373
第313图	沟迹出土遺物(3)	327	第347图	沟迹(15)	374
第314图	沟迹出土遺物(4)	329	第348图	沟迹(16)	375
第315图	沟迹(3)	330	第349图	第792·795·796号溝跡区剖面	376
第316图	沟迹出土遺物(5)	332	第350图	第792·795·796号溝跡遺物出土状况(1)	377
第317图	沟迹(4)	334			377
第318图	沟迹出土遺物(6)	336	第351图	第792·795·796号溝跡遺物出土状况(2)	378
第319图	沟迹(5)	338			378
第320图	沟迹(6)	340	第352图	第792·795·796号溝跡遺物出土状况(3)	379
第321图	沟迹(7)	343			379
第322图	沟迹出土遺物(7)	345	第353图	第792·795·796号溝跡遺物出土状况(4)	380
第323图	沟迹(8)	347			380
第324图	沟迹出土遺物(8)	348	第354图	第792·795·796号溝跡遺物出土状况(5)	381
第325图	沟迹出土遺物(9)	349			381
第326图	沟迹(9)	350	第355图	第792·795·796号溝跡遺物出土状况(6)	382
第327图	沟迹(10)	351			382
第328图	第762号溝跡区剖面	352	第356图	沟迹出土遺物(19)	383
第329图	第762号溝跡遺物出土状况(1)	353	第357图	沟迹出土遺物(20)	384
第330图	第762号溝跡遺物出土状况(2)	354	第358图	沟迹出土遺物(21)	385
第331图	第762号溝跡遺物出土状况(3)	355	第359图	沟迹出土遺物(22)	386
第332图	第762号溝跡遺物出土状况(4)	356	第360图	沟迹出土遺物(23)	387
第333图	第762号溝跡遺物出土状况(5)	357	第361图	沟迹出土遺物(24)	388
第334图	沟迹出土遺物(10)	358	第362图	沟迹出土遺物(25)	389
第335图	沟迹出土遺物(11)	359	第363图	沟迹出土遺物(26)	390
第336图	沟迹出土遺物(12)	360	第364图	沟迹出土遺物(27)	391
第337图	沟迹出土遺物(13)	361	第365图	沟迹出土遺物(28)	392
第338图	沟迹出土遺物(14)	362	第366图	沟迹出土遺物(29)	393
第339图	沟迹出土遺物(15)	363	第367图	沟迹出土遺物(30)	394
第340图	沟迹出土遺物(16)	364	第368图	沟迹出土遺物(31)	395
			第369图	沟迹出土遺物(32)	396

第370図	溝跡 (17)	398
第371図	溝跡 (18)	399
第372図	溝跡 (19)	403
第373図	溝跡出土遺物 (33)	404
第374図	第3号道路状遺構	413
第375図	谷部位置図	414
第376図	谷部北側出土遺物 (1)	415
第377図	谷部北側出土遺物 (2)	416
第378図	谷部南側区割図	418
第379図	谷部南側土層断面 (1)	419
第380図	谷部南側土層断面 (2)	420
第381図	谷部南側遺物出土状況 (1)	421
第382図	谷部南側遺物出土状況 (2)	422
第383図	谷部南側遺物出土状況 (3)	423
第384図	谷部南側遺物出土状況 (4)	424
第385図	谷部南側遺物出土状況 (5)	425
第386図	谷部南側遺物出土状況 (6)	426
第387図	谷部南側遺物出土状況 (7)	427
第388図	谷部南側遺物出土状況 (8)	428
第389図	谷部南側遺物出土状況 (9)	430
第390図	谷部南側遺物出土状況 (10)	431
第391図	谷部南側遺物出土状況 (11)	432
第392図	谷部南側遺物出土状況 (12)	433
第393図	谷部南側出土遺物 (1)	434
第394図	谷部南側出土遺物 (2)	435
第395図	谷部南側出土遺物 (3)	436
第396図	谷部南側出土遺物 (4)	437
第397図	谷部南側出土遺物 (5)	438
第398図	谷部南側出土遺物 (6)	439
第399図	谷部南側出土遺物 (7)	440

第400図	谷部南側出土遺物 (8)	441
第401図	谷部南側出土遺物 (9)	442
第402図	谷部南側出土遺物 (10)	443
第403図	谷部南側出土遺物 (11)	444
第404図	谷部南側出土遺物 (12)	445
第405図	谷部南側出土遺物 (13)	446
第406図	谷部南側出土遺物 (14)	447
第407図	谷部南側出土遺物 (15)	448
第408図	谷部南側出土遺物 (16)	449
第409図	谷部南側出土遺物 (17)	450
第410図	谷部南側出土遺物 (18)	451
第411図	谷部南側出土遺物 (19)	452
第412図	谷部南側出土遺物 (20)	453
第413図	谷部南側出土遺物 (21)	454
第414図	谷部南側出土遺物 (22)	455
第415図	グリッド・表採出土遺物 (1)	462
第416図	グリッド・表採出土遺物 (2)	463
第417図	グリッド・表採出土遺物 (3)	464
第418図	グリッド・表採出土遺物 (4)	465
第419図	グリッド・表採出土遺物 (5)	466
第420図	グリッド・表採出土遺物 (6)	467
第421図	グリッド・表採出土遺物 (7)	468
第422図	縄文時代の石器 (1)	471
第423図	縄文時代の石器 (2)	472
第424図	遺構変遷図 (弥生後期～古墳時代前期)	473
第425図	遺構変遷図 (古墳時代中・後期)	474
第426図	遺構変遷図 (奈良・平安時代)	475
第427図	遺構変遷図 (中世)	476
第428図	方形周溝墓分布図	478

表目次

(第2分冊)

第33表	溝跡出土遺物観察表 (1)	405	第42表	谷部出土遺物観察表 (2)	457
第34表	溝跡出土遺物観察表 (2)	406	第43表	谷部出土遺物観察表 (3)	458
第35表	溝跡出土遺物観察表 (3)	407	第44表	谷部出土遺物観察表 (4)	459
第36表	溝跡出土遺物観察表 (4)	408	第45表	谷部出土遺物観察表 (5)	460
第37表	溝跡出土遺物観察表 (5)	409	第46表	谷部出土遺物観察表 (6)	461
第38表	溝跡出土遺物観察表 (6)	410	第47表	グリッド・表採出土遺物観察表 (1) ..	468
第39表	溝跡出土遺物観察表 (7)	411	第48表	グリッド・表採出土遺物観察表 (2) ..	469
第40表	溝跡出土遺物観察表 (8)	412	第49表	グリッド・表採出土遺物観察表 (3) ..	470
第41表	谷部出土遺物観察表 (1)	456	第50表	使用樹種傾向	480
			第51表	農具の樹種	482

図版目次

(第2分冊)

図版 1	1 遺跡遠景 (西から)		7	第12号方形周溝墓遺物出土状況③	
	2 第4次調査東区全景 (北西から)		8	第12号方形周溝墓遺物出土状況④	
図版 2	1 第5次調査北半全景 (東から)		図版 7	1 第12号方形周溝墓 (第5次調査分)	
	2 第5次調査南半全景 (北から)		2	第12号方形周溝墓マウンド	
図版 3	1 第5次調査北半近景 (北から)		図版 8	1 第12号方形周溝墓マウンド土層断面①	
	2 第5次調査南側住居跡群 (北から)		2	第12号方形周溝墓マウンド土層断面②	
図版 4	1 第11号方形周溝墓①		図版 9	1 第12号方形周溝墓①	
	2 第11号方形周溝墓②		2	第12号方形周溝墓②	
図版 5	1 第11号方形周溝墓北溝		図版10	1 第12号方形周溝墓下層遺物出土状況①	
	2 第11号方形周溝墓遺物出土状況①		2	第12号方形周溝墓上層遺物出土状況②	
	3 第11号方形周溝墓遺物出土状況②		3	第12号方形周溝墓上層遺物出土状況③	
	4 第11号方形周溝墓遺物出土状況③		4	第12号方形周溝墓下層遺物出土状況①	
	5 第12号方形周溝墓 (第4次調査分)		5	第12号方形周溝墓下層遺物出土状況②	
図版 6	1 第12号方形周溝墓北溝		6	第12号方形周溝墓下層遺物出土状況③	
	2 第12号方形周溝墓マウンド土層断面		7	第12号方形周溝墓下層遺物出土状況④	
	3 第12号方形周溝墓北溝土層断面		8	第12号方形周溝墓調査風景	
	4 第12号方形周溝墓東溝土層断面		図版11	1 第14号方形周溝墓	
	5 第12号方形周溝墓遺物出土状況①		2	第15~18号方形周溝墓 (東から)	
	6 第12号方形周溝墓遺物出土状況②		図版12	1 第15~18号方形周溝墓 (南から)	
			2	第15号方形周溝墓①	

- 図版13 1 第16号方形周溝墓
2 第15号方形周溝墓②
3 第15号方形周溝墓東溝遺物出土状況
4 第16号方形周溝墓東溝遺物出土状況①
5 第16号方形周溝墓東溝遺物出土状況②
- 図版14 1 第17号方形周溝墓
2 第17号方形周溝墓遺物出土状況①
3 第17号方形周溝墓遺物出土状況②
4 第17号方形周溝墓遺物出土状況③
5 第17号方形周溝墓埧形土器出土状態
- 図版15 1 第18号方形周溝墓
2 第18号方形周溝墓遺物出土状況①
3 第18号方形周溝墓遺物出土状況②
4 第18号方形周溝墓遺物出土状況③
5 第19号方形周溝墓
- 図版16 1 第324号住居跡
2 第325号住居跡
3 第325号住居跡カマド
4 第326号住居跡
5 第327号住居跡
6 第328号住居跡
7 第330号住居跡
8 第330号住居跡カマド
- 図版17 1 第330号住居跡遺物出土状況
2 第331号住居跡
3 第330号住居跡遺物出土状況①
4 第330号住居跡遺物出土状況②
5 第332号住居跡
- 図版18 1 第333号住居跡
2 第333号住居跡カマド
3 第333号住居跡遺物出土状況
4 第334号住居跡
5 第335号住居跡
- 図版19 1 第336・337号住居跡
2 第336号住居跡勾玉出土状況
3 第338号住居跡
4 第339号住居跡
- 5 第340号住居跡
- 図版20 1 第340号住居跡カマド1
2 第340号住居跡カマド1 遺物出土状況
3 第340号住居跡カマド2
4 第340号住居跡貯蔵穴
5 第340号住居跡遺物出土状況
6 第341号住居跡
7 第342号住居跡
8 第342号住居跡カマド
- 図版21 1 第343号住居跡
2 第343号住居跡炉1
3 第343号住居跡炉2
4 第343号住居跡遺物出土状況
5 第344・351・358・359号住居跡
- 図版22 1 第344号住居跡カマド
2 第344号住居跡貯蔵穴1・2
3 第345号住居跡
4 第345号住居跡石製模造品出土状況
5 第346号住居跡
6 第346号住居跡カマド
7 第346号住居跡カマド遺物出土状況
8 第347号住居跡
- 図版23 1 第348号住居跡
2 第348号住居跡カマド
3 第350号住居跡
4 第350号住居跡貯蔵穴
5 第351号住居跡貯蔵穴
- 図版24 1 第352号住居跡
2 第353号住居跡
3 第355号住居跡
4 第357号住居跡
5 第359号住居跡
6 第360号住居跡
7 第361号住居跡
8 第362号住居跡
- 図版25 1 第363号住居跡
2 第363号住居跡カマド

- | | | | | |
|------|---|----------------------|------|--------------------|
| | 3 | 第363号住居跡遺物出土状況 | 6 | 第389号住居跡貯蔵穴 |
| | 4 | 第363号住居跡カマド遺物出土状況① | 7 | 第390号住居跡 |
| | 5 | 第363号住居跡カマド遺物出土状況② | 8 | 第391号住居跡 |
| 図版26 | 1 | 第364号住居跡 | 図版31 | 1 第392号住居跡 |
| | 2 | 第364号住居跡カマド | 2 | 第392号住居跡カマド |
| | 3 | 第364号住居跡遺物出土状況 | 3 | 第394号住居跡 |
| | 4 | 第365号住居跡 | 4 | 第394号住居跡遺物出土状況 |
| | 5 | 第365号住居跡遺物出土状況 | 5 | 第395・396号住居跡 |
| 図版27 | 1 | 第366号住居跡 | 6 | 第397号住居跡 |
| | 2 | 第366号住居跡カマド | 7 | 第398号住居跡 |
| | 3 | 第367号住居跡 | 8 | 第399号住居跡 |
| | 4 | 第367号住居跡カマド | 図版32 | 1 第400号住居跡 |
| | 5 | 第367号住居跡遺物出土状況① | 2 | 第400号住居跡炉 |
| | 6 | 第367号住居跡遺物出土状況② | 3 | 第400号住居跡貯蔵穴 |
| | 7 | 第368号住居跡 | 4 | 第400号住居跡遺物出土状況① |
| | 8 | 第368号住居跡カマド | 5 | 第400号住居跡遺物出土状況② |
| 図版28 | 1 | 第369号住居跡 | 図版33 | 1 第401号住居跡 |
| | 2 | 第371号住居跡 | 2 | 第402号住居跡 |
| | 3 | 第371号住居跡カマド | 3 | 第403号住居跡 |
| | 4 | 第372号住居跡 | 4 | 第404号住居跡 |
| | 5 | 第372号住居跡カマド | 5 | 第404号住居跡カマド |
| | 6 | 第373・374・379号住居跡 | 6 | 第404号住居跡カマド袖遺物出土状況 |
| | 7 | 第373号住居跡貯蔵穴 | 7 | 第404号住居跡遺物出土状況 |
| | 8 | 第375号住居跡 | 8 | 第405号住居跡 |
| 図版29 | 1 | 第376号住居跡 | 図版34 | 1 第406号住居跡 |
| | 2 | 第376号住居跡カマド | 2 | 第406号住居跡ビット1 |
| | 3 | 第376号住居跡遺物出土状況① | 3 | 第406号住居跡菅玉出土状況 |
| | 4 | 第376号住居跡遺物出土状況② | 4 | 第407~410号住居跡 |
| | 5 | 第376号住居跡ビット2 | 5 | 第407号住居跡 |
| | 6 | 第378・385号住居跡 | 6 | 第407号住居跡貯蔵穴 |
| | 7 | 第380・382・383・387号住居跡 | 7 | 第411号住居跡 |
| | 8 | 第381号住居跡 | 8 | 第411号住居跡遺物出土状況 |
| 図版30 | 1 | 第384号住居跡 | 図版35 | 1 第412・413号住居跡 |
| | 2 | 第386号住居跡 | 2 | 第414・415号住居跡 |
| | 3 | 第388号住居跡 | 3 | 第414号住居跡貯蔵穴 |
| | 4 | 第389号住居跡 | 4 | 第416・417号住居跡 |
| | 5 | 第389号住居跡カマド | 5 | 第418・423号住居跡 |

- | | | | | | |
|------|---|-------------------|------|---|-------------------|
| | 6 | 第420号住居跡カマド遺物出土状況 | | 6 | 第418号井戸跡 |
| | 7 | 第420号住居跡遺物出土状況 | | 7 | 第419号井戸跡 |
| | 8 | 第422号住居跡 | | 8 | 第419号井戸跡遺物出土状況 |
| 図版36 | 1 | 第53号掘立柱建物跡 | 図版41 | 1 | 第420号井戸跡 |
| | 2 | 第53号掘立柱建物跡 P5 | | 2 | 第421号井戸跡 |
| | 3 | 第53号掘立柱建物跡 P6 | | 3 | 第421号井戸跡井戸枠出土状況① |
| | 4 | 第52号掘立柱建物跡 | | 4 | 第421号井戸跡井戸枠出土状況② |
| | 5 | 第54号掘立柱建物跡 | | 5 | 第422号井戸跡 |
| 図版37 | 1 | 第389号井戸跡 | | 6 | 第422号井戸跡遺物出土状況 |
| | 2 | 第390号井戸跡 | | 7 | 第423号井戸跡 |
| | 3 | 第390号井戸跡曲物出土状況 | | 8 | 第424号井戸跡 |
| | 4 | 第391号井戸跡 | 図版42 | 1 | 第7号円形周溝状遺構 |
| | 5 | 第394号井戸跡 | | 2 | 第8号竪穴状不明遺構 |
| | 6 | 第394号井戸跡木製品出土状況 | | 3 | 第8号竪穴状不明遺構遺物出土状況① |
| | 7 | 第395号井戸跡 | | 4 | 第8号竪穴状不明遺構遺物出土状況② |
| | 8 | 第396号井戸跡遺物出土状況 | | 5 | 第9号竪穴状不明遺構 |
| 図版38 | 1 | 第397号井戸跡 | 図版43 | 1 | 第660号土坑 |
| | 2 | 第397号井戸跡遺物出土状況 | | 2 | 第663号土坑 |
| | 3 | 第400号井戸跡 | | 3 | 第670号土坑 |
| | 4 | 第401号井戸跡 | | 4 | 第672号土坑 |
| | 5 | 第402号井戸跡 | | 5 | 第675号土坑 |
| | 6 | 第403号井戸跡 | | 6 | 第678号土坑 |
| | 7 | 第404号井戸跡 | | 7 | 第680号土坑 |
| | 8 | 第404号井戸跡遺物出土状況 | | 8 | 第682号土坑 |
| 図版39 | 1 | 第405号井戸跡 | 図版44 | 1 | 第683号土坑 |
| | 2 | 第407号井戸跡 | | 2 | 第686・687号土坑 |
| | 3 | 第408号井戸跡 | | 3 | 第689号土坑 |
| | 4 | 第408号井戸跡遺物出土状況 | | 4 | 第692号土坑 |
| | 5 | 第409号井戸跡 | | 5 | 第703号土坑 |
| | 6 | 第410号井戸跡 | | 6 | 第703号土坑焼土・炭化物検出状況 |
| | 7 | 第412号井戸跡 | | 7 | 第706号土坑 |
| | 8 | 第413号井戸跡、第765号土坑 | | 8 | 第709号土坑 |
| 図版40 | 1 | 第414号井戸跡 | 図版45 | 1 | 第711号土坑 |
| | 2 | 第414号井戸跡木製漆塗輪出土状況 | | 2 | 第712号土坑 |
| | 3 | 第415号井戸跡 | | 3 | 第712号土坑炭化物検出状況 |
| | 4 | 第416号井戸跡 | | 4 | 第715号土坑 |
| | 5 | 第417号井戸跡 | | 5 | 第716号土坑 |

- 6 第721号土坑
7 第723号土坑
8 第725号土坑
- 图版46 1 第729号土坑
2 第730号土坑
3 第736号土坑
4 第737号土坑
5 第739号土坑
6 第740号土坑
7 第745号土坑
8 第751号土坑
- 图版47 1 第754号土坑
2 第755号土坑
3 第756号土坑
4 第758号土坑遺物出土狀況
5 第761号土坑
6 第761号土坑遺物出土狀況
7 第763号土坑
8 第777号土坑
- 图版48 1 第778号土坑
2 第783号土坑遺物出土狀況
3 第796号土坑
4 第798号土坑
5 第800号土坑、O46G P3
6 第803号土坑
7 第806号土坑
8 第828号土坑
- 图版49 1 M27G P1
2 K28G P15
3 O28G P4
4 O32G P21
5 N33G P57
6 Q46G P31
7 Q47G P11
8 P48G P15
- 图版50 1 第655号溝跡
2 第655号溝跡紡錘車出土狀況
- 3 第657·658号溝跡
4 第660~663·679号溝跡
5 第666·667号溝跡
6 第671号溝跡
7 第671号溝跡子持勾玉出土狀況
8 第671号溝跡遺物出土狀況
- 图版51 1 第673~675号溝跡
2 第673·674·732·733号溝跡
3 第674号溝跡遺物出土狀況
4 第680号溝跡
5 第684~687·710号溝跡
6 第691~693号溝跡
7 第697号溝跡
8 第698号溝跡
- 图版52 1 第706·718·719号溝跡
2 第731号溝跡紡錘車出土狀況
3 第731号溝跡遺物出土狀況
4 第736~740·746·747号溝跡
5 第745号溝跡
6 第753·754号溝跡
7 第753号溝跡遺物出土狀況
8 第755号溝跡
- 图版53 1 第762号溝跡
2 第762号溝跡遺物出土狀況①
3 第762号溝跡遺物出土狀況②
4 第762号溝跡遺物出土狀況③
5 第762号溝跡遺物出土狀況④
6 第764·766号溝跡
7 第767号溝跡
8 第779号溝跡
- 图版54 1 第789·806号溝跡
2 第792·795·796·798号溝跡
3 第792号溝跡遺物出土狀況①
4 第792号溝跡遺物出土狀況②
5 第795·796号溝跡遺物出土狀況①
6 第795·796号溝跡遺物出土狀況②
7 第795·796号溝跡遺物出土狀況③

	8	第804·805号溝跡		第330号住居跡出土遺物
図版55	1	第809号溝跡		第331号住居跡出土遺物
	2	第809号溝跡遺物出土状況①		第333号住居跡出土遺物
	3	第809号溝跡遺物出土状況②		第334号住居跡出土遺物
	4	第810号溝跡		第340号住居跡出土遺物
	5	第816·817号溝跡	図版66	第344号住居跡出土遺物
	6	第820·822号溝跡		第346号住居跡出土遺物
	7	第823~825·831号溝跡		第348号住居跡出土遺物
	8	第3号道路状遺構		第350号住居跡出土遺物
図版56	1	O44G 谷部土層断面		第351号住居跡出土遺物
	2	N47G 谷部土層断面		第357号住居跡出土遺物
図版57	1	P40G 谷部金環出土状況		第361号住居跡出土遺物
	2	P40G 谷部遺物出土状況	図版67	第363号住居跡出土遺物
	3	P41G 谷部遺物出土状況		第364号住居跡出土遺物
	4	P42·43G 谷部遺物出土状況		第365号住居跡出土遺物
	5	P42G 谷部遺物出土状況①	図版68	第367号住居跡出土遺物
	6	P42G 谷部遺物出土状況②		第370号住居跡出土遺物
	7	O·P43G 谷部遺物出土状況		第372号住居跡出土遺物
	8	P43G 谷部遺物出土状況①		第375号住居跡出土遺物
図版58	1	P43G 谷部遺物出土状況②		第376号住居跡出土遺物
	2	O44G 谷部遺物出土状況①	図版69	第376号住居跡出土遺物
	3	O44G 谷部遺物出土状況②		第377号住居跡出土遺物
	4	O44G 谷部剣形模造品出土状況		第381号住居跡出土遺物
	5	O46G 谷部遺物出土状況		第382号住居跡出土遺物
	6	O46G 谷部曲物出土状況		第383号住居跡出土遺物
	7	O46G 谷部鉄鍬出土状況	図版70	第384号住居跡出土遺物
	8	M47G 谷部遺物出土状況		第385号住居跡出土遺物
図版59		第11号方形周溝墓出土遺物		第396号住居跡出土遺物
図版60		第11号方形周溝墓出土遺物		第397号住居跡出土遺物
		第12号方形周溝墓出土遺物	図版71	第399号住居跡出土遺物
図版61		第12号方形周溝墓出土遺物		第400号住居跡出土遺物
図版62		第12号方形周溝墓出土遺物		第403号住居跡出土遺物
		第15号方形周溝墓出土遺物		第404号住居跡出土遺物
		第16号方形周溝墓出土遺物		第406号住居跡出土遺物
図版63		第17号方形周溝墓出土遺物	図版72	第406号住居跡出土遺物
図版64		第18号方形周溝墓出土遺物		第414号住居跡出土遺物
図版65		第326号住居跡出土遺物		第422号住居跡出土遺物

- 第394号井戸跡出土遺物
第395号井戸跡出土遺物
図版73 第396号井戸跡出土遺物
第403号井戸跡出土遺物
第418号井戸跡出土遺物
第8号竪穴状不明遺構出土遺物
図版74 第8号竪穴状不明遺構出土遺物
第660号土坑出土遺物
第698号土坑出土遺物
第716号土坑出土遺物
第725号土坑出土遺物
第736号土坑出土遺物
第803号土坑出土遺物
図版75 N33G P7出土遺物
P48G P15出土遺物
第655号溝跡出土遺物
第673号溝跡出土遺物
第674号溝跡出土遺物
第675号溝跡出土遺物
第680号溝跡出土遺物
第688号溝跡出土遺物
図版76 第702号溝跡出土遺物
第747号溝跡出土遺物
第753号溝跡出土遺物
第762号溝跡出土遺物
図版77 第762号溝跡出土遺物
第792号溝跡出土遺物
図版78 第792号溝跡出土遺物
図版79 第792号溝跡出土遺物
第793号溝跡出土遺物
第795号溝跡出土遺物
第796号溝跡出土遺物
図版80 第796号溝跡出土遺物
第809号溝跡出土遺物
第810号溝跡出土遺物
第822号溝跡出土遺物
谷部出土遺物
- 図版81 谷部出土遺物
図版82 谷部出土遺物
図版83 谷部出土遺物
図版84 谷部出土遺物
グリッド・表探出土遺物
図版85 グリッド・表探出土遺物
図版86 第331号住居跡出土遺物
第333号住居跡出土遺物
第340号住居跡出土遺物
第343号住居跡出土遺物
図版87 第344号住居跡出土遺物
第345号住居跡出土遺物
第346号住居跡出土遺物
第348号住居跡出土遺物
第350号住居跡出土遺物
第363号住居跡出土遺物
図版88 第363号住居跡出土遺物
第364号住居跡出土遺物
第367号住居跡出土遺物
図版89 第367号住居跡出土遺物
第370号住居跡出土遺物
第371号住居跡出土遺物
第375号住居跡出土遺物
図版90 第376号住居跡出土遺物
第380号住居跡出土遺物
第381号住居跡出土遺物
第393号住居跡出土遺物
第398号住居跡出土遺物
第400号住居跡出土遺物
図版91 第400号住居跡出土遺物
第404号住居跡出土遺物
第406号住居跡出土遺物
第407号住居跡出土遺物
第397号井戸跡出土遺物
図版92 第404号井戸跡出土遺物
第8号竪穴状不明遺構出土遺物
第683号土坑出土遺物

- P46G P14出土遺物
Q46G P101出土遺物
第671号溝跡出土遺物
- 図版93 第671号溝跡出土遺物
第674号溝跡出土遺物
第731号溝跡出土遺物
第747号溝跡出土遺物
- 図版94 第753号溝跡出土遺物
第762号溝跡出土遺物
- 図版95 第762号溝跡出土遺物
第783号溝跡出土遺物
第794号溝跡出土遺物
- 図版96 谷部出土遺物
図版97 谷部出土遺物
図版98 谷部出土遺物
図版99 谷部出土遺物
図版100 谷部出土遺物
図版101 谷部出土遺物
図版102 谷部出土遺物
グリッド・表採出土遺物
- 図版103 グリッド・表採出土遺物
- 図版104 第331号住居跡出土遺物
第345号住居跡出土遺物
第346号住居跡出土遺物
第363号住居跡出土遺物
- 図版105 第363号住居跡出土遺物
- 図版106 第364号住居跡出土遺物
第365号住居跡出土遺物
第367号住居跡出土遺物
- 図版107 第373号住居跡出土遺物
第376号住居跡出土遺物
第377号住居跡出土遺物
第384号住居跡出土遺物
- 図版108 第385号住居跡出土遺物
第394号住居跡出土遺物
第397号住居跡出土遺物
第400号住居跡出土遺物
- 図版109 第406号住居跡出土遺物
第411号住居跡出土遺物
第414号住居跡出土遺物
第420号住居跡出土遺物
- 図版110 第709号土坑出土遺物
第758号土坑出土遺物
第761号土坑出土遺物
- 図版111 第676号溝跡出土遺物
第706号溝跡出土遺物
第762号溝跡出土遺物
- 図版112 第762号溝跡出土遺物
- 図版113 第762号溝跡出土遺物
谷部出土遺物
- 図版114 谷部出土遺物
- 図版115 谷部出土遺物
- 図版116 谷部出土遺物
- 図版117 谷部出土遺物
- 図版118 谷部出土遺物
グリッド・表採出土遺物
- 図版119 第400号住居跡出土遺物
第666号溝跡出土遺物
第671号溝跡出土遺物
第680号溝跡出土遺物
第689号溝跡出土遺物
第753号溝跡出土遺物
第762号溝跡出土遺物
谷部出土遺物
グリッド・表採出土遺物
- 図版120 紡錘車、紡錘車未製品
砥石、板碑
- 図版121 須恵器1・2
- 図版122 灰釉陶器1・2
- 図版123 緑釉陶器1 (外面)
緑釉陶器2 (内面)
- 図版124 中世陶磁器、瀬戸
- 図版125 常滑1・2
- 図版126 常滑3

中世陶器

図版127 玉類

石製模造品 1

図版128 石製模造品 2・3

図版129 砥石、土製品

図版130 鉄製品、錢貨

図版131 打製石斧 1・2

図版132 木製品 1

図版133 木製品 2

図版134 木製品 3

図版135 木製品 4

図版136 木製品 5

8. 溝跡

下田町遺跡第5次調査の溝跡（略号SD）番号は、平成13～15年度の第2～4次調査の続き番号を使用している。今回の報告は平成15年度に発掘調査を実施した東区と平成16年度の5次調査の範囲である。

調査の結果、溝跡番号は第655号から第834号を付し、180条を検出した。一部の溝跡については、今回の整理作業において他の遺構番号に振り替え、第714号溝跡は第19号方形周溝墓、第700・701号溝跡は第11号方形周溝墓、第724号溝跡は第12号方形周溝墓、第730号溝跡は第14号方形周溝墓、第756～759号溝跡は第15号方形周溝墓、第770～773号溝跡は第16号方形周溝墓、第769・787・788号溝跡は第17号方形周溝墓、第785号溝跡は第18号方形周溝墓に変更した。また、第590・596・613・665・713・744・828号溝跡は欠番である。

調査区から検出された溝跡は、古墳時代前期・後期、奈良・平安時代、中世にかけての遺構であり、遺物も大量に出土した。本調査区の中央部分には東西方向に大きな谷地形が形成され、この谷部が遺跡内の溝跡の形成に大きく影響をおよぼしている。

古墳時代の溝跡は、集落内を緩やかな地形の起伏に合わせ、わずかに蛇行しながら延びる。また、第762号溝跡は、底面が平坦な掘り込みをもつ幅広い溝跡であり、遺物も多く検出されている。機能は不明であるが谷部から繋がっていることから、水路の機能をもつ引き込み溝あるいは船着場の機能が考えられる。この溝跡の北側には第3号道路状遺構も検出されている。いずれも細長く、途切れ途切れに検出されている。また、鎌倉時代の第792・795・796号溝跡は調査区南西部に検出され、かわらけが大量に出土した。さらに、調査区南東部では第797・810・816・817・819・820・822号溝跡を検出し、溝跡が途切れることから区画溝の入口施設が想定される。中世の生活面は、古代の生活面より上であったが、調査の進行上、同一面で調査を行っている。

以下、各遺構について報告する。

第655号溝跡（第309図）

K・L-27グリッドにかけて検出された。東側調査区の北端にあたる。

本溝跡は、東西方向に直線的に延び、南西端部は南側へ屈曲していた。北東端部分は調査区域外に続いていた。南側は「L」字状に屈曲し、短く延びて立ち上がっていた。

規模は、全長10m、幅70～85cm、深さはK-27グリッドで41cmであった。断面形態は箱形であった。

出土遺物は、第311図1～5に図示した。1は須恵器坏身、2は土師器模倣坏、3～5は石製模倣品の有孔円板である。他に覆土中より土師器甕、坏破片が少量出土した。

第656号溝跡（第309図）

北側はM-27、南側はL-28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は南北方向に直線的に延びていた。北側は調査区域外に続き、南側は第669号土坑と重複して途切れていた。本溝跡の西側には第666・667号溝跡が並行して検出された。

規模は、全長10.3m、幅35～50cm、深さはL・M-27グリッドで7cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、須恵器甕胴部破片1点が出土した。

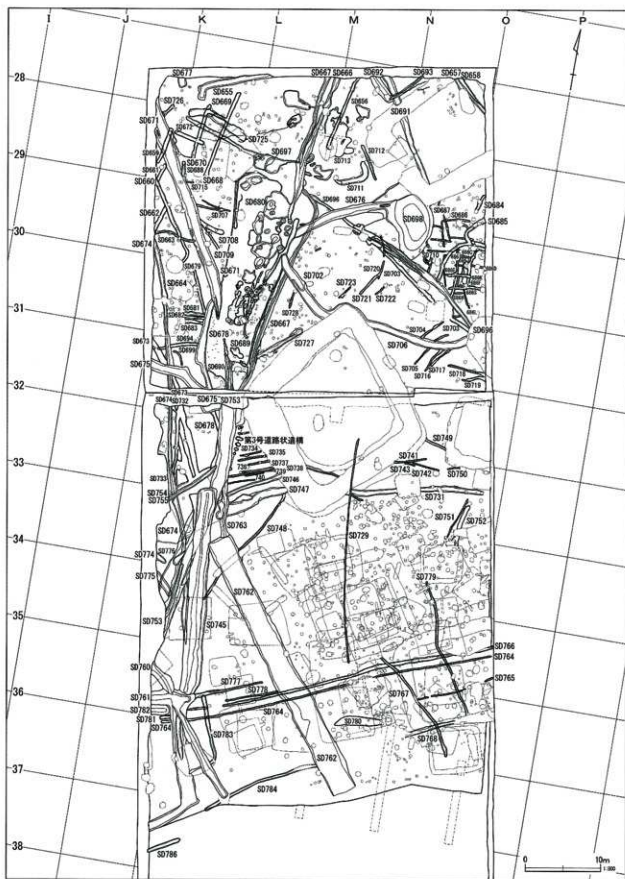
第657号溝跡（第309図）

N-27グリッドで検出された。東側調査区の北東コーナー部で検出された。

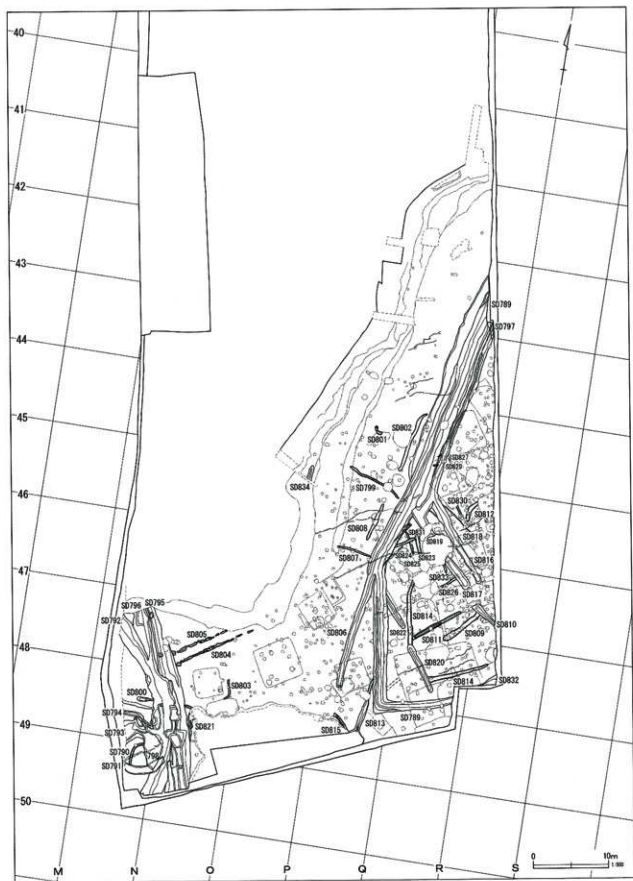
本溝跡は北西から南東方向に直線的に延びていた。両端はいずれも調査区域外に続く。北側には第658号溝跡および第11号方形周溝墓が位置していた。重複する遺構は、第659号土坑であった。

規模は、全長6m、幅5～35cm、深さは13cmであった。

遺物が出土しなかったため、時期は不明である。



第307図 溝跡・道路状遺構全体図 (1)



第308图 沟跡・道路状遺構全体図(2)



第309圖 溝跡 (1)

第658号溝跡 (第309図)

N-27グリッドで検出された。

本溝跡は北西から南東方向に直線的に延びていた。

第657号溝跡と重複し、本遺構が古かった。

規模は、全長5.4m、幅5～25cm、深さは8cmであった。

遺物は、土師器甕、武蔵型坏などが出土した。

第659号溝跡 (第309図)

J-28グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に直線的に短く延びていた。周囲には第661・662・672・688・726号溝跡などの類似した遺構がみられた。重複する遺構は本溝跡に切られる第671号溝跡があった。

規模は、全長4.9m、幅35～55cm、深さは7cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、土師器甕、須恵器坏破片が少量出土した。

第660号溝跡 (第309図)

北側はJ-28、南側はK-30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は北西から南東方向に直線的に延びていた。南端部分では、西側方向へ「L」字状に屈曲していた。北側は調査区域外に続く。東側では第671号溝跡が並行し、西側では第664号溝跡が並行して検出された。重複する遺構は、南端部で第390号井戸跡に切られていた。

規模は、全長12m、幅30～60cm、深さはK-29グリッドで10cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、土師器甕、須恵器坏破片が少量出土した。

第661号溝跡 (第309図)

J-28・29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は南北方向に延びていた。南側には第665号溝跡が位置していた。北側の第659号溝跡や、南側の第662号溝跡と方向を同じくし、規模も類似していた。

規模は、全長2.4m、幅40～50cm、深さはJ-28グ

リッドで6cmであった。

遺物は、土師器甕、須恵器坏破片が少量出土した。

第662号溝跡 (第309図)

J-29グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に延びていた。北側は第660号溝跡に切られていた。南側は調査区域外に続いていた。本溝跡の北側で検出した第659・661・726号溝跡と方向を同じくし、規模も類似していた。

規模は、全長3.5m、幅45～50cm、深さは5cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、土師器甕、須恵器坏破片が少量出土した。

第663号溝跡 (第309図)

J・K-29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西方向にやや蛇行して延びていた。東側は第671号溝跡に切れ、西側は調査区域外に続いていた。

規模は、全長6m、幅20～30cm、深さはK-29グリッドで17cmであった。

遺物は、土師器甕底部破片などが少量出土した。

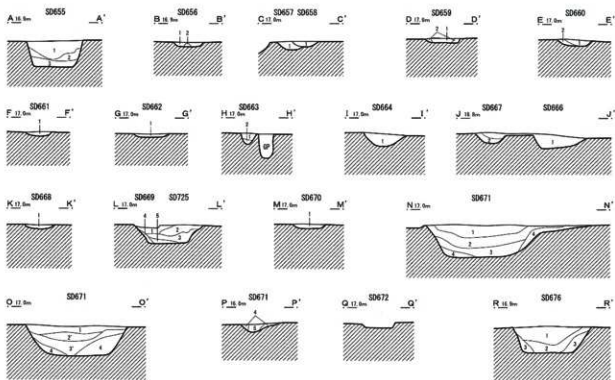
第664号溝跡 (第309図)

北側はJ-29、南側はK-31グリッドにかけて位置し、東側調査区の南西コーナー部にあたる。

本溝跡は南北方向に直線的に延びていた。両端はいずれも調査区域外に続いていた。重複する遺構は、本溝跡の中央部分で第325号住居跡を切りこみ、さらに南側では第675号溝跡に切られていた。また、北側には、第660・671・679号溝跡が並行していた。

規模は、全長20m、幅40～75cm、深さはK-30グリッドで19cm、K-31グリッドで32cmであった。断面形態は逆台形であった。

出土遺物は、第311図6・7に図示した。6は土師器鉢、7は土師器甕である。他に土師器甕、比企型坏、埴などが出土した。



第655号横断 (A-A')

- | | | |
|--------|---------|--|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 (φ1~2mm) 含む 炭化物粒子 (φ1mm) 微量 しまりあり 粘性ややあり 土層片混入 |
| 2 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 (φ1~5mm) ・ロームブロック多量 しまりあり 粘性ややあり |
| 3 青灰色土 | 10BG3/1 | ロームがブロックに埋没し、黒褐色土が充填する しまりあり 粘性強い |

第656号横断 (B-B')

- | | | |
|--------|--------|----------------|
| 1 黒褐色土 | 5YR2/1 | 粘土ブロック微量 炭化物含む |
| 2 黒褐色土 | 5YR3/1 | 炭化物含む |

第657号横断 (C-C')

- | | | |
|---------|----------|----------------------|
| 1 黒褐色土 | 7.5YR3/2 | 粘土・マンガシ少量 炭化物含む |
| 第658号横断 | | |
| 1 黒褐色土 | 10YR3/1 | 黄褐色土ブロック・粘土微量 マンガシ少量 |

第659号横断 (D-D')

- | | | |
|--------|---------|--|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/1 | 黒褐色土主体 褐色土粒子 (φ1mm) 少量 炭化物微量 土層薄片含む しまりあり 粘性ややあり |
| 2 褐色土 | 10YR4/1 | 褐色土粒子 (φ2mm) 含む しまりあり 粘性なし |

第660号横断 (E-E')

- | | | |
|---------|---------|---|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/2 | 黄褐色土ブロック (φ5mm) 少量 褐色土粒子 (φ2mm) 含む しまりあり 粘性ややあり |
| 2 灰黄褐色土 | 10YR4/2 | 青褐色ローム主体 しまりあり 粘性なし |

第661号横断 (F-F')

- | | | |
|------------|---------|---|
| 1 にかい・黄褐色土 | 10YR3/3 | 黒褐色土のしまりのある土 (φ5~7mm) ・褐色土粒子 (φ2mm) 含む しまりあり 粘性なし |
|------------|---------|---|

第662号横断 (G-G')

- | | | |
|---------|---------|-----------------------------------|
| 1 灰黄褐色土 | 10YR4/2 | 黒褐色土のしまりのある土 (φ5mm以上) 含む しまり・粘性あり |
|---------|---------|-----------------------------------|

第663号横断 (H-H')

- | | | |
|-------|---------|---|
| 1 褐色土 | 10YR4/1 | 褐色土粒子 (φ1mm) 含む 粘土粒子 (φ1mm) 微量 しまりあり 粘性なし |
| 2 褐色土 | 10YR4/1 | 灰黄色土ブロック (φ10mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |

第664号横断 (I-I')

- | | | |
|--------|---------|--|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/1 | 黄褐色土ブロック (φ15mm) 少量 炭化物微量 褐色土粒子 (φ3mm) 含む しまりあり 粘性なし |
|--------|---------|--|

第666・667号横断 (J-J')

- | | | |
|--------|---------|---|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 (φ1~3mm) ・鉄分少量 しまりあり 粘性強い |
| 2 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 (φ1~3mm) ・鉄分少量 ロームブロック微量 しまりあり 粘性強い |

第668号横断 (K-K')

- | | | |
|-------|---------|---|
| 1 褐色土 | 10YR4/1 | 灰色のしまりのある土主体 褐色土粒子 (φ2mm) 多量 しまりあり 粘性なし |
|-------|---------|---|

第670号横断 (M-M')

- | | | |
|-------|---------|---|
| 1 褐色土 | 10YR4/1 | 灰色のしまりのある土主体 褐色土粒子 (φ2mm) 多量 しまりあり 粘性なし |
|-------|---------|---|

第671号横断 (N-N'・O-O'・P-P')

- | | | |
|---------|---------|---|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/2 | 褐色土粒子 (φ3mm) 多量 黄褐色土ブロック (φ10~20mm) 少量 しまりあり 粘性なし |
| 2 褐色土 | 10YR4/1 | しまりのある褐色土主体 灰色土ブロック (φ5~20mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |
| 2' | 褐色土 | しまりのある褐色土主体 黄褐色土ブロック (φ7~10mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |
| 3 褐色土 | 10YR4/1 | 粘性のある灰色土主体 褐色土粒子 (φ2mm) 含む |
| 3' | 褐色土 | 粘性のある灰色土主体 褐色土粒子 (φ2mm) 多量 しまりややあり 粘性あり |
| 4 灰黄褐色土 | 10YR4/2 | 地山の土多量 褐色土のしまりのある土含む しまりあり 粘性なし |
| 5 黒褐色土 | 10YR3/1 | 粘性のある褐色土 しまり・粘性あり |

第676号横断 (R-R')

- | | | |
|--------|---------|----------------------------|
| 1 黒褐色土 | 10YR3/1 | 地山ブロック少量 炭化物微量 マンガシ多量 |
| 2 黒褐色土 | 10YR3/1 | 地山ブロック少量 マンガシ含む |
| 3 黒褐色土 | 10YR3/1 | 地山ブロック (φ2~10mm) 多量 マンガシ含む |

第725号横断 (L-L')

- | | | |
|---------|---------|---|
| 1 褐色土 | 10YR4/1 | 暗灰色土 (やや粘性のある) 主体 粘土粒子 (φ0.5mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |
| 2 褐色土 | 10YR4/1 | 黄褐色土ブロック (φ2~10mm) 少量 しまりあり 粘性なし |
| 3 黒褐色土 | 10YR3/1 | やや粘性のある褐色土主体 黄褐色土ブロック (φ5mm) 少量 しまり・粘性ややあり |
| 4 灰黄褐色土 | 10YR4/2 | 黄褐色土ブロック (φ5mm) ・粘性のある土面に含む しまりあり 粘性ややあり |
| 5 黒褐色土 | 10YR3/1 | 灰 (層の間に散在して埋没) 含む 黄褐色土ブロック (φ5mm) 少量 しまり・粘性あり |

第310図 溝跡 (2)

第665号溝跡 欠番（第11号方形周溝墓に変更）

第666号溝跡（第309図）

北側はL-27、南側はL-29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東側調査区のはほぼ中央を南北方向に直線的に延びていた。北側は調査区域外に続いていた。南側はL-29グリッド付近で途切れていたが、南側に検出された小規模の溝跡や、土坑状の掘り込みなどと関連すると思われる。これらの掘り込みは、第3次調査で確認された道路状遺構に繋がるものと思われる。本溝跡の南端では、第667号溝跡と分岐していた。

規模は、全長21m、幅35～90cm、深さはL-27グリッドで23cm、L-29グリッドで30cmであった。断面形態は皿状であった。

出土遺物は、第311図8～14に図示した。8～11は須恵器坏で、8・9には刻書、11には墨書がみられる。12・13は灰軸陶器の皿である。14は須恵器羽釜である。他に土師器甕破片が出土した。

第667号溝跡（第309・319図）

北側はL-27、南側はL-31グリッドにかけて位置し、東側調査区の中央部を縦断していた。

本溝跡は南北方向に直線的に延びていた。北側は調査区域外に続き、南側は第665号溝跡と重複しながらも、クランク状に蛇行し、さらに南進して調査区域外に延びていた。本溝跡の北側では、第665号溝跡が東側に並行して検出された。また、中央から南側にかけては、西側に第680号溝跡と接していた。なお、本溝跡は道路状遺構の東側側溝の可能性が高い。L-30グリッド付近では、溝の底面に小穴が数多く確認された。また、K-31・32グリッドでは、本溝跡と並行して第678号溝跡が検出され、対をなすものと考えられる。両溝跡間の間隔はほぼ6mを測り、両側側溝をもつ道路状遺構があった可能性が考えられる。

規模は、全長46m、幅35～65cm、深さはL-27グリッドで16cm、L-29グリッドで16cm、L-30グリッドで20cm、L-31グリッドで25cmであった。

出土遺物は、第311図15～18に図示した。15は土師器坏、16・17は須恵器坏、18は須恵器甕である。他に土師器甕、須恵器甕が出土した。なお、第666・667号溝跡から検出された遺物を検討してみると、第311図8および17の須恵器坏底部は回転ヘラケズリである。第311図10・11・16は底部回転糸切りの須恵器坏、さらに14の羽釜が出土していることから、道路状遺構の下限は8世紀中葉と考えられ、上限は10世紀前半とすることができる。

第668号溝跡（第309図）

K-27・28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は南北方向に延びていた。西側には並行して第670号溝跡が位置していた。この他周辺には、類似する溝跡が検出されている。溝跡としたが、遺構の性格は不明である。

規模は、全長13m、幅35～55cm、深さはK-28グリッドで5cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、出土しなかった。

第669号溝跡（第309図）

K-27・28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西方向にはほぼ直線的に延びていた。重複する遺構には本溝跡と類似する形態の第668・670号溝跡が存在する。

規模は、全長2.6m、幅40～50cm、深さはK-28グリッドで4cmであった。断面形態は逆台形であった。

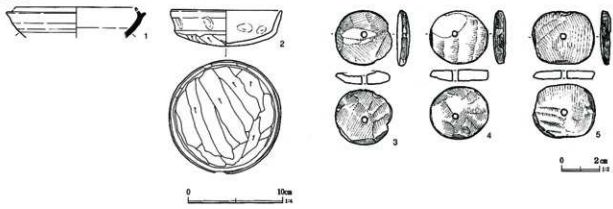
遺物は、土師器甕破片などが少量出土した。

第670号溝跡（第309図）

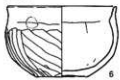
K-27・28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は南北方向に延び、北側ではL字状に東側へ屈曲し、第668号溝跡と接していた。

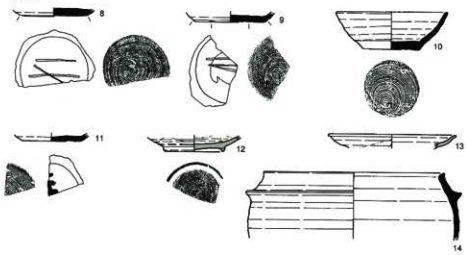
SD 655



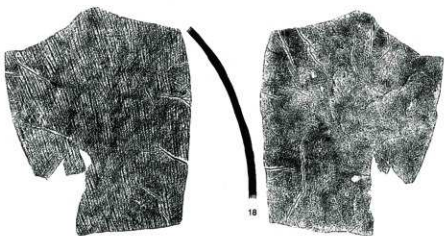
SD 664



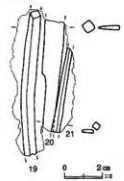
SD 666



SD 667

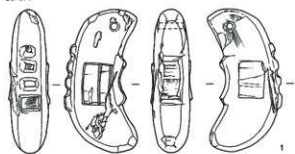


SD 670

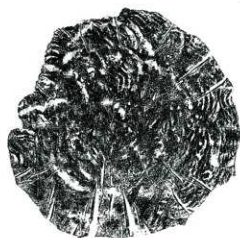


第311图 清跡出土遺物 (1)

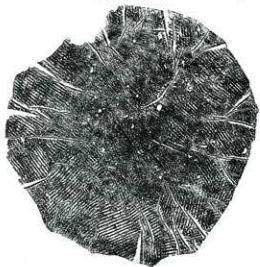
SD 671



0 2cm



6



SD 673



0 10mm

第312图 清跡出土遺物 (2)

規模は、全長7.5m、幅30～50cm、深さはK-28グリッドで7cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、第311図19～21に図示した鉄製品の破片が出土した。他に土師器甕・坏破片などが少量出土した。

第671号溝跡 (第309図)

北側はJ-27、南側はK-30グリッドにかけて検出された。東側調査区の西側にあたる。

本溝跡は北西から南東方向に直線的に伸び、調査区を縦断していた。北側および南側は調査区域外に続いていた。K-30グリッド付近では、溝跡の掘り込みが途切れていた。これは、区画溝の開口部分と考えられ、入り口施設敷設の可能性が考えられる。本溝跡の西側には、規模の小さな第660・664・674・679号溝跡が並行して走っていた。重複する遺構には、第389・392・395号井戸跡が切りこんでいた。

規模は、全長30m、幅60～200cm、深さはJ・K-28グリッドで52cm、K-29グリッドで46cm、K-30グリッドで12cmであった。断面形態は箱形であった。

出土遺物は、第312図1～10に図示した。1は石製品の子持勾玉、2・3は須恵器坏身、5は須恵器甕、4・6・7は須恵器甕、8～10は底部回転ヘラケズリを施した須恵器坏である。8・9は底部外面に刻書がみられる。

第672号溝跡 (第309図)

J・K-28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西方向に短く伸びていた。周辺には第659・661・662・669号溝跡などの類似した溝跡がみられた。

規模は、全長4.2m、幅50～55cm、深さはK-28グリッドで8cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、出土しなかった。

第673号溝跡 (第319図)

K-31・32グリッドにかけて位置し、東側調査区

の南西コーナー付近と第5次調査区北西コーナー部で検出した。

本溝跡は北西から南東方向に伸びていた。北側は調査区域外に続く。重複する遺構には第674・675号溝跡があり、いずれも新しかった。

規模は、全長7+9.25m、幅50～80cm、深さは9cmであった。

出土遺物は、第312図11に図示した須恵器坏身の他、須恵器坏H、土師器甕、坏などが出土した。

第674号溝跡 (第319・326図)

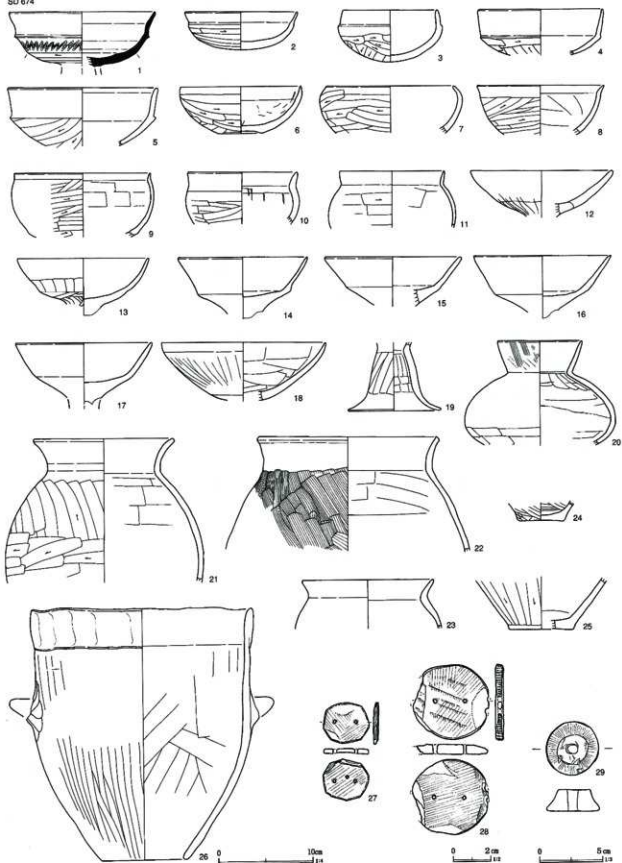
K-31・33、L-34グリッドにかけて検出された。

本溝跡は、第4次調査東区南西コーナー部分から第5次調査区の北西コーナー部に検出された。南北方向に直線的に伸びていた。北側は第325号住居跡を挟んで、第664号溝跡に繋がっていた。重複する遺構は、第4次調査東区の南西コーナー部分では第675号溝跡に切られていた。第5次調査区では第745・753・776号溝跡と重複していた。また、古墳時代前期の第343号住居跡を切っていた。

規模は、全長122+30.75m、幅65cm、深さはK-30グリッド付近で33cmであった。

出土遺物は、第313図1～29に図示した。1は須恵器高坏である。非常に硬質で焼成も良く、つくりも精緻である。陶呂産とみられる。体部外面には波状文が巡る。2～7は土師器坏である。2は口縁部の短い丸底坏、3は有稜の小型丸底坏である。4・5は口縁部の立ち上がりが高く、ややハの字状に開く模倣坏である。6・7は口唇部が内彎する塊タイプの坏である。8・9は口唇部が「く」の字状に短く開く塊である。10・11は小型の塊である。12～19は高坏で、12・15・18・19には赤彩が施されている。20は小型の壺である。21～25は甕の破片である。26は大型甕で、口縁部に粘土紐が貼りつくタイプである。27・28は石製模造品の有孔円板、29は滑石製紡錘車である。

SD 674



第313图 满跡出土遺物 (3)

第675号溝跡 (第319図)

K-31グリッドに位置し、東側調査区の南西コーナー部に検出した。

本溝跡は東西方向に延びていた。両端はいずれも調査区域外に続いていた。

規模は、全長7.2m、幅130～180cm、深さは49cmであった。

出土遺物は、第314図1～6に図示した。1は須恵器杯、2～4は須恵器高台付埴である。3・4の2点は酸化焰焼成である。5は土師器瓶、6は須恵器羽釜である。他に土師器甕破片などが多量に出土した。

第676号溝跡 (第309図)

北側はM-28、南側はL-29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西方向に緩やかな弧を描きながら延びていた。やや幅の広い浅い掘り込みの溝跡であった。西側は第680号溝跡に切られ、東側は第698号溝跡に接していた。

規模は、全長13m、幅95～120cm、深さはM-29グリッドで40cmであった。断面形態は箱形であった。

出土遺物は、第314図7～9に図示した。7は須恵器杯Hの杯身である。8は大型の土師器丸甕、9は木製の部材である。他に覆土中より土師器甕、杯、壺などが出土した。

第677号溝跡 (第309図)

J-27グリッドに位置し、東側調査区の北西コーナー部に検出した。

本溝跡は南北方向に延び、北側は調査区域外に延びていた。東側には第655号溝跡が位置し、規模の点で類似していた。調査範囲が狭いため、性格は不明である。

規模は、全長1.3m、幅90～105cm、深さは17cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、出土しなかった。

第678号溝跡 (第309・319図)

K-30・31グリッドにかけて位置し、東側調査区の南西コーナー部付近で検出した。

本溝跡は、道路状遺構とした第685号溝跡の西側縁辺に並行して南北方向に延びていた。北側は第671号溝跡に切られ、南側は調査区域外に延びていた。また道路状遺構の浅い掘り込みを挟んだ東側には第667号溝跡が位置し、本溝跡と対をなした両脇側溝の可能性が考えられる。

規模は、全長12m、幅60～140cm、深さはK-30グリッドで15cm、K-31グリッドで23cmであった。

遺物は、羽釜、須恵器高台付埴破片などが少量出土した。

第679号溝跡 (第309図)

K-30グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に直線的に延びていた。北側には第660号土坑が重複し、南側は第678号溝跡に切られていた。本溝跡は北側の第660号溝跡と規模や時期が同じことから、連続する可能性が考えられる。

規模は、全長5.4m、幅30～50cm、深さは9cmであった。

遺物は、土師器甕の破片などが少量出土した。

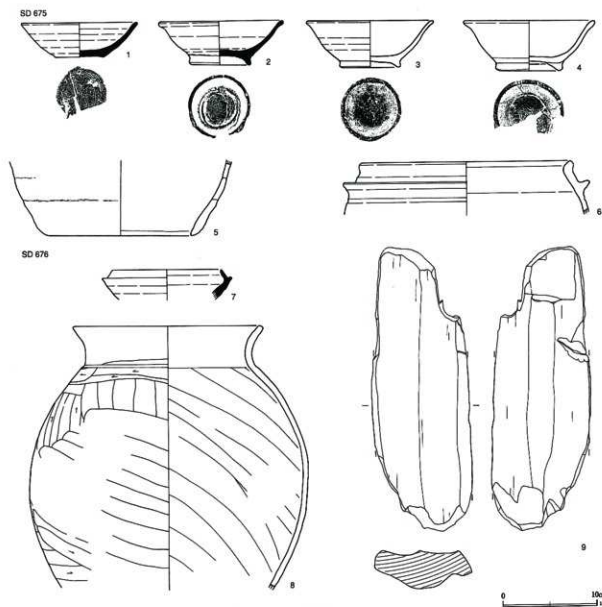
第680号溝跡 (第309・319図)

K-28～31、L-27～31グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東側調査区のほぼ中央を南北方向に延びていた。

規模は、全長43m、幅はL-29グリッド付近で11.4m、深さは確認面から8cm位の皿状で、道路状遺構の掘り方と考えられる。掘り方部分に不整楕円形の掘り込みや、短い溝状遺構・小穴などが多数掘り込まれていた。北側および西側はなだらかに立ち上がっていた。東側は第666号溝跡および第667号溝跡によって区切られていた。

出土遺物は、第316図1～19に図示した。1は須恵



第314図 溝跡出土遺物 (4)

器高台付塊、2は須恵器坏、3は須恵器壺の底部である。4は灰釉陶器長頸瓶の底部片である。5～7・9は灰釉陶器碗・皿の底部破片である。8・10は緑釉陶器の碗・皿である。11は須恵器坏の体部破片で、外面に記号とみられる墨書がみられる。12は土師器甕の口縁部である。13は須恵器羽釜である。14～16は他の遺構から混入したと考えられる須恵器坏である。14の体部外面には「十」の墨書がみられる。底部は周辺ヘラケズリが施される。17は灰釉陶器長頸瓶の口縁部破片である。18は土錘である。19は石製模造品の用途不明品である。この他覆土中か

らは内黒境などが出土した。

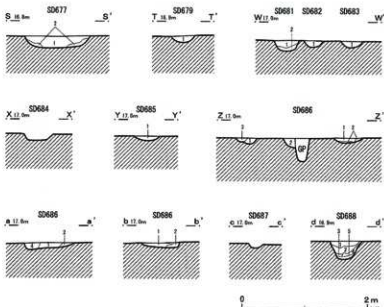
第681号溝跡 (第309図)

K-30グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に延びていた。東側には第678号溝跡、西側には第325号住居跡が位置していた。さらに本溝跡の南側には682・683号溝跡が並行して検出された。溝跡の性格は不明である。

規模は、全長2.7m、幅35～50cm、深さは16cmであった。

遺物は、土師器甕・坏破片が少量出土した。



第677号溝跡 (S-S')

- | | | |
|--------|---------|---|
| 1 黒褐色土 | 10TR3/1 | 黄褐色土ブロック (φ30~50mm) 含む 褐色土粒子 (φ2mm) 多量 しまりあり 粘性なし |
| 2 褐色土 | 10TR4/1 | 黄褐色土ブロック (φ10~20mm) 多量 しまりあり粘性ややあり 須臾器片を含む |

第679号溝跡 (T-T')

- | | | |
|--------|---------|--|
| 1 黒褐色土 | 10TR3/2 | 黄褐色土ブロック (φ5~10mm) ・褐色土粒子 (φ2mm) 含む しまりあり 粘性なし |
|--------|---------|--|

第680号溝跡 (U-U')

- | | | |
|---------|-----------|---|
| 1 褐色土 | 10TR4/1 | 地山シルト (φ1~2mm) 少量 炭化物粒子 (φ1mm) 微量 しまり・粘性あり |
| 2 灰褐色土 | 10TR4/2 | 地山シルト (φ1~2mm) 少量 鉄屑1~3層より目立つ しまり・粘性あり |
| 3 褐色土 | 10TR3/1 | 地山シルト (φ1~5mm) 含む しまり・粘性あり |
| 4 黒土 | 10TR1.7/1 | 焼土粒子 (φ1~5mm) 含む 2層土ブロック状に固入 炭化物 (φ1~5mm) 少量 しまりなし 粘性弱い |
| 5 褐色土 | 10TR4/1 | 4層土ブロック少量 しまり・粘性あり |
| 6 褐色土 | 10TR4/1 | ロームをブロック状に含む |
| 7 灰黄褐色土 | 10TR4/2 | 鉄屑多量 しまり・粘性あり |
| 8 褐色土 | 10TR4/1 | 焼土粒子 (φ1mm) 微量 鉄屑少量 しまり・粘性あり (SD667・689層上) |

第667・680・689号溝跡 (V-V')

- | | | |
|---------|---------|--|
| 1 黒色土 | 2.5I2/1 | しまりややあり 粘性やや強い |
| 2 褐色土 | 10TR4/1 | くぼみ状のおちこみに粘質土が入り込む しまりややあり 粘性あり~強い |
| 3 褐色土 | 10TR4/1 | 2層と色調のみ異なる しまりややあり 粘性強い |
| 4 褐色土 | 10TR5/1 | 褐色土粒子 (φ1~5mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |
| 5 灰黄褐色土 | 10TR5/2 | 褐色土粒子 (φ1~5mm) 少量 4層より色調がやや明るい しまりあり 粘性ややあり |
| 6 褐色土 | 10TR4/1 | ローム粒子 (φ1~8mm) ・褐色土粒子 (φ1~6mm) 少量 しまり・粘性ややあり (SD667・689層上) |

第681号溝跡 (W-W')

- | | | |
|--------|----------|--|
| 1 黒褐色土 | 7.5TR3/1 | 下層にロームブロック (φ10~20mm) が堆積 しまりあり 粘性ややあり |
| 2 黄褐色土 | 7.5TR3/1 | ローム粒子 (φ1~2mm) 少量 しまりややあり 粘性あり |

第682号溝跡

- | | | |
|-------|---------|-----------------------------|
| 1 黒色土 | 10TR2/1 | 焼土粒子 (φ1mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |
|-------|---------|-----------------------------|

第683号溝跡

- | | | |
|-------|----------|---|
| 1 黒色土 | 7.5TR2/1 | 焼土粒子 (φ1~2mm) ・焼土ブロック (φ10mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |
|-------|----------|---|

第685号溝跡 (Y-Y')

- | | | |
|-----------|---------|----------------------|
| 1 に近い黄褐色土 | 10TR3/3 | 黄灰色粘土粒子 (φ5~10mm) 含む |
|-----------|---------|----------------------|

第666号溝跡 (Z-Z', a-a', b-b')

- | | | |
|-----------|---------|-------------------------------|
| 1 灰黄褐色土 | 10TR4/2 | ローム粒子 (φ1~5mm) 少量 しまり・粘性あり |
| 2 に近い黄褐色土 | 10TR5/3 | ローム主体 しまりあり 粘性ややあり |
| 3 褐色土 | 10TR4/1 | ローム粒子 (φ1~2mm) 少量 しまりあり 粘性弱い |
| 4 灰黄褐色土 | 10TR4/2 | ロームブロック (φ1~10mm) 多量 しまり・粘性あり |

第688号溝跡 (d-d')

- | | | |
|--------|---------|---|
| 1 黒褐色土 | 10TR3/2 | 黄褐色土ブロック (φ10mm) 少量 褐色土粒子 (φ2mm) 多量 しまりあり 粘性なし |
| 2 褐色土 | 10TR4/1 | 灰を層下に含む 焼土ブロック (φ10~15mm) 含む 褐色土粒子 (φ2mm) 多量 粘性のある灰土主体 しまりややあり 粘性あり |
| 3 褐色土 | 10TR4/1 | 灰色粘土の層 しまりややあり 粘性あり |
| 4 褐色土 | 10TR5/1 | 崖山の土多量 しまりあり 粘性なし |
| 5 黄灰色土 | 555/1 | 黄灰色の粘質のある土 炭化物微量 しまりなし 粘性あり |

第315図 溝跡 (3)

第682号溝跡 (第309図)

K-30グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に延びていた。東側には第678号溝跡、西側には第325号住居跡が位置していた。さらに本溝跡の南側には第683号溝跡が、北側には第681号溝跡が並行して検出された。性格は不明である。

規模は、全長2.7m、幅30～50cm、深さは9cmであった。

遺物は、土師器甕・坏破片などが少量出土した。

第683号溝跡 (第319図)

K-30グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に延びていた。東側には第678号溝跡、西側には第325号住居跡が位置していた。さらに本溝跡の北側には第681・682号溝跡が並行して検出された。性格は不明である。

規模は、全長2.35m、幅30～55cm、深さは10cmであった。

遺物は、土師器の甕・坏、須恵器の甕破片などが少量出土した。

第684号溝跡 (第309図)

O-28グリッドで検出された。

本溝跡は東側調査区の東辺に検出され、南北方向に延びていた。北側は調査区域外へ続いていた。南側はビットによって切られる短い溝跡であった。

規模は、全長2.2m、幅25～55cm、深さは9cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、土師器の甕・坏破片が少量出土した。

第685号溝跡 (第309図)

北側はO-28、西側はN-29、南側はO-29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東側調査区の東辺に検出された。弧状に造られていた。北側は調査区域外へ延び、南側は弧を描きながら第696号溝跡に繋がっていた。

規模は、全長4m、幅40～75cm、深さはN-28・

29グリッドで6cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第686号溝跡 (第309図)

N・O-29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西および南北方向に交差する10条にもおよぶ複数の溝跡群である。細長く、幅の狭い畝状の溝跡であった。

規模は、第686-1号溝跡が全長6.5m、幅22～40cm、深さはN-29グリッドで9cmであった。第686-2号溝跡は、全長3m、幅15～50cm、深さはN-29グリッドで4cmであった。第686-3号溝跡は、全長5m、幅20～45cm、深さはO-29グリッドで7cmであった。第686-4号溝跡は、全長2.6m、幅15～25cm、深さはO-29グリッドで6cmであった。第686-5号溝跡は、全長1.4m、幅20～35cm、深さはO-29グリッドで3cmであった。第686-6号溝跡は、全長1.1m、幅20～30cm、深さはN-29グリッドで4cmであった。第686-7号溝跡は、全長1.6m、幅20～25cm、深さはO-29グリッドで6cmであった。第686-8号溝跡は、全長3.5m、幅20～40cm、深さはO-29グリッドで2cmであった。第686-9号溝跡は、全長4.2m、幅25～40cm、深さはO-29グリッドで6cmであった。第686-10号溝跡は、全長1.15m、幅15～20cm、深さはN-29グリッドで5cmであった。断面形態は皿状であった。

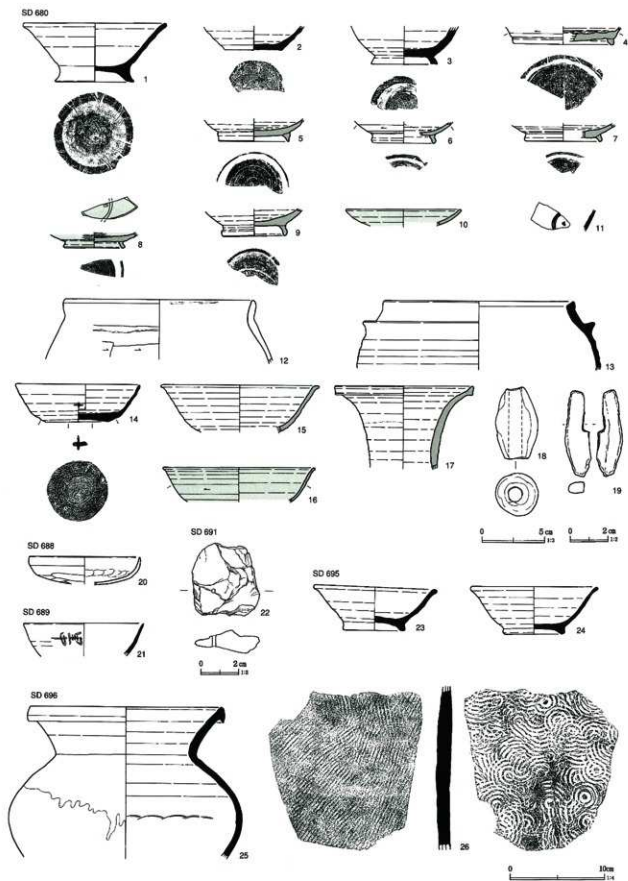
遺物は、土師器甕破片などが少量出土した。

第687号溝跡 (第309図)

N・O-28・29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西および南北方向に交差する溝跡群である。第686号溝跡群の北西に位置し、同様の畝状の溝跡群であった。

規模は、第687-1号溝跡が全長0.8m、幅20～35cm、深さはN-29グリッドで8cmであった。第687-2号溝跡は、全長3.5m、幅15～20cm、深さはN-29グリッドで6cmであった。第687-3号溝跡は、全長3.4m、



第316图 清跡出土遺物 (5)

幅20~25cm、深さはN-28グリッドで6cmであった。第687-4号溝跡は、全長4.5m、幅10~15cm、深さはN-29グリッドで4cmであった。第687-5号溝跡は、全長3.8m、幅15~25cm、深さはN-28グリッドで5cmであった。第687-6号溝跡は、全長1.15m、幅15~35cm、深さはN-28グリッドで4cmであった。第687-7号溝跡は、全長0.8m、幅20~25cm、深さはN-28グリッドで5cmであった。第687-8号溝跡は、全長3.15m、幅15~25cm、深さはN-29グリッドで4cmであった。第687-9号溝跡は、全長2.75m、幅20cm、深さはN-29グリッドで6cmであった。第687-10号溝跡は、全長2.5m、幅15~20cm、深さはN-29グリッドで4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第688号溝跡 (第309図)

K-28グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に延びる非常に短い溝跡であった。北側は階段状に掘り込まれ、南側は第671号溝跡によって切られていた。

規模は、全長2.2m、幅35~50cm、深さはK-28グリッドで28cmであった。断面形態は箱形であった。

遺物は、第316図20の土師器北武藏型坏が出土した。この他土師器壺の破片などが少量出土している。

第689号溝跡 (第309・319図)

北側はL-29、南側はL-31グリッドにかけて検出された。

本溝跡は南北方向に細長く延びていた。北側は第702号溝跡に切られ、南側は第667号溝跡に重複していた。30cmほど東側には第667号溝跡が並行して走っていた。

規模は、全長15.3mと1.1m、幅15~60cm、深さはL-30グリッドで9cmであった。

遺物は、第316図21に図示した須恵器坏が出土している。この土師器の体部外面には「里中」の墨書がみられる。この他、外周回転ヘラケズリを施した須恵

器坏、壺の破片などが多量に出土した。

第690号溝跡 (第319図)

L-31グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に延び、北側で検出された第671号溝跡と一体のものとして捉えられる。両溝間には4.5mの開口部が存在し、溝跡が途切れていた。南側は調査区域外へと延びていた。

規模は、全長4.7m、幅30~110cm、深さは25cmであった。

遺物は、土師器の「く」の字状口縁壺、須恵器壺破片などが少量出土した。

第691号溝跡 (第309図)

北側はM-27、南側はN-28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東側調査区の北東コーナー付近に位置し、南北方向に延びる溝跡であった。北側は調査区域外へと続く。南側は第11号方形周溝墓で途切れていた。また北寄りでは第692・693号溝跡に切られていた。

規模は、全長15m、幅60~105cm、深さはM-27グリッドで28cmであった。断面形態は逆台形である。

遺物は、第316図22に図示した石製模造品の未製品が出土した。この他土師器の壺底部・壺・坏破片少量が出土した。

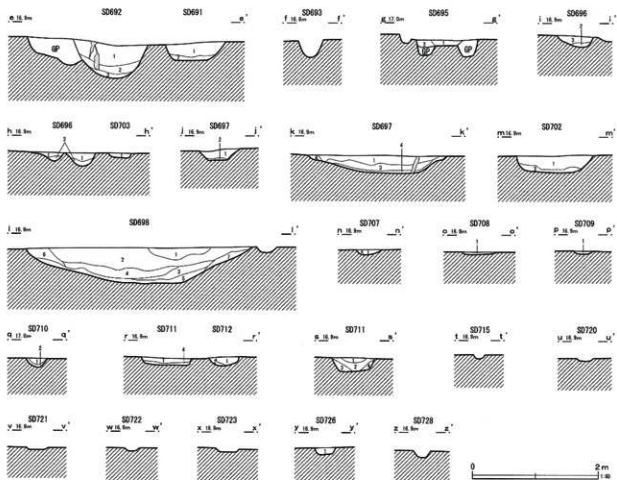
第692号溝跡 (第309図)

M-27グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に延びていた。北側は調査区域外へと続き、南側は第11号方形周溝墓の手前で立ち上がっていた。重複する遺構は、東側に第691・693号溝跡が位置していた。

規模は、全長4m、幅120~130cm、深さは51cmであった。断面形態は箱形であった。

遺物は、出土しなかった。



第691号溝跡 (a-e)
 1 黒褐色土 7.5192/2 地山ブロック (φ1~30mm) 少量 炭化物・マンガン含む
 2 黒褐色土 7.5193/1 地山ブロック多量

第692号溝跡
 1 黒褐色土 5192/1 地山ブロック (φ1~20mm) ・マンガン・炭化物含む
 2 黒褐色土 10193/1 地山ブロック (φ1~20mm) 多量 マンガン含む
 3 黒褐色土 10193/1 地山ブロック多量

第693号溝跡 (e-g)
 1 褐色土 10194/1 ローム粒子 (φ1~3mm) ・ロームブロック少量 しまりあり 粘性ややあり
 2 黒褐色土 10193/2 ローム粒子 (φ1~5mm) 少量 しまり・粘性あり

第696号溝跡 (h-h'・i-i')
 1 褐色土 10194/1 ローム粒子 (φ1~3mm) 少量 しまり・粘性あり
 2 黒褐色土 10193/2 ローム粒子 (φ1~5mm) 少量 しまり・粘性あり
 3 黒褐色土 10193/2 ローム粒子 (φ1~5mm) 少量 地山粒子 (φ1~2mm) ・炭化物粒下微量 しまり・粘性あり

第697号溝跡 (j-j'・k-k')
 1 黒褐色土 10192/3 暗茶褐色土主体 褐色土粒子 (φ4mm) 多量 しまり
 2 灰黄褐色土 10194/2 黄褐色土ブロック (φ15~30mm) 含む 暗灰色土少量 しまりあり 粘性ややあり
 3 褐色土 10194/1 灰色の粘性のある土体 黄褐色土ブロック (φ10mm) ・褐色土粒子 (φ2mm) 含む しまりややあり 粘性あり
 4 褐色土 10195/1 地山土・褐色土粒子 (φ4mm) 多量 しまりあり 粘性なし

第698号溝跡 (l-l')
 1 黒褐色土 10193/1 地山ブロック含む マンガン多量
 2 黒褐色土 10192/2 地山ブロック少量 マンガン多量
 3 黒褐色土 2.5193/1 地山ブロック少量 マンガン・炭化物含む
 4 赤土 10192/1 粘土ブロック微量 マンガン・炭化物含む
 5 灰黄褐色土 2.5194/2 地山ブロック・マンガン多量
 6 赤褐色土 10193/1 地山ブロック多量
 7 黒褐色土 10192/2 地山ブロック (φ1~5mm) 含む 粘土ブロック微量

第702号溝跡 (m-m')
 1 灰黄褐色土 2.5194/2 マンガン多量 炭化物少量
 2 黒褐色土 2.5193/1 地山ブロック (φ1~20mm) ・マンガン・炭化物含む

第703号溝跡 (h-h')
 1 褐色土 10194/1 ロームブロック (φ1~10mm) 多量 しまりあり 粘性ややあり

第707号溝跡 (n-n')
 1 灰黄褐色土 10194/2 粘性のある暗灰色土主体 褐色土粒子 (φ2mm) 多量 黄褐色土ブロック (φ5mm) 微量 しまり・粘性ややあり

第708号溝跡 (o-o')
 1 黒褐色土 10193/2 しまりのある暗灰色土微量 黄褐色土ブロック (φ1~2mm) ・暗茶褐色土含む しまりなし 粘性なし

第709号溝跡 (p-p')
 1 褐色土 10194/1 しまりのある暗灰色土主体 黄褐色土ブロック (φ5mm) 少量 しまりあり 粘性なし

第710号溝跡 (q-q')
 1 黒褐色土 10193/2 ローム粒子 (φ1~2mm) 少量 しまり・粘性あり
 2 にがい黄褐色土 10196/4 ロームブロック堆積層 1層土充填 しまり・粘性あり

第711号溝跡 (r-r'・s-s')
 1 褐色土 10193/1 マンガン多量
 2 黒褐色土 10193/1 地山ブロック少量 炭化物・マンガン含む
 3 赤土 10192/1 地山ブロック (φ1~5mm) 少量
 4 黒褐色土 10193/1 地山ブロック (φ1~20mm) 多量

第712号溝跡 (t-t')
 1 黒褐色土 10193/1 地山ブロック (φ1~20mm) 多量
 2 黒褐色土 10193/1

第726号溝跡 (y-y')
 1 褐色土 10194/1 しまりのある暗灰色土主体 黄褐色土ブロック (φ10mm) 含む しまりあり 粘性なし

第317図 溝跡 (4)

第693号溝跡 (第309図)

M・N-27グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東側調査区北の東寄りに位置し、東西方向に延びていた。東側は調査区域外へと続き、南側は第692号溝跡を切り込んでとまっていた。幅の狭い細長い溝跡であった。

規模は、全長5m、幅30～45cm、深さはN-27グリッドで27cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第694号溝跡 (第319図)

K-31グリッドで検出された。

本溝跡は東側調査区の南西コーナー付近で検出された。東西方向に延びる細長い溝跡であった。西側は一部途切れながら調査区域外へ続く。東側は第678号溝跡で途切れる。本溝跡の北側3mほどの位置に第681～683号溝跡が並行していた。重複する遺構は溝跡中央部で第673・674号溝跡に切られていた。

規模は、全長5.4m、幅30～45cm、深さは9cmであった。

遺物は、土師器甕・坏破片が少量出土した。

第695号溝跡 (第309図)

東側はO-29、南側はN-29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は北東から南西方向に弧を描くように延びていた。東側は調査区域外へ延び、南側は第696号溝跡に繋がっていた。北西コーナー部分では第685号溝跡と分岐していた。

規模は、全長9.5m、幅40～50cm、深さはO-29グリッドで8cmであった。

遺物は、第316図23・24が出土した。いずれも焼成の甘い須恵器高台付埴である。

第696号溝跡 (第309・319図)

北側はL-28、南側はO-30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は調査区中央付近から南東コーナーに向かってほぼ直線的に延びていた。北側では第667号溝跡と重複し、南端部分では第714号溝跡と重複していた。また本溝跡の中央付近では、枝状に溝跡が分岐し、幅を広げていた。本溝跡の南側には第703号溝跡が並行して走っていた。また北側では第695号溝跡が本溝跡と繋がっていた。重複する遺構は、第676号溝跡が切り込んでおり、第396号井戸跡も切り込んでいた。

規模は、全長27m、幅25～100cm、深さはN-29グリッドで17cmであった。

出土遺物は、第316図25・26に図示した。25は須恵器小型甕、26は外面平行叩き、内面青海波文を残す須恵器大甕の胴部破片である。

第697号溝跡 (第309図)

K・L-28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西方向に延びていた。西側は幅35cm前後で細長い。東側は220cmと幅が広がっていた。不整形の溝跡である。重複する遺構には、西側では第668・670号溝跡が縦断していた。東側では第666号溝跡が位置していた。また本溝跡中央付近には第326号住居跡が位置し、本遺構が切り込んでいた。

規模は、全長16.5m、幅35～220cm、深さはK-28グリッドで17cm、L-28グリッドで28cmであった。断面形態は皿状であった。

出土遺物は、第318図1～4に図示した。1～3は土師器の丸底坏で、4は台付甕の脚部破片である。

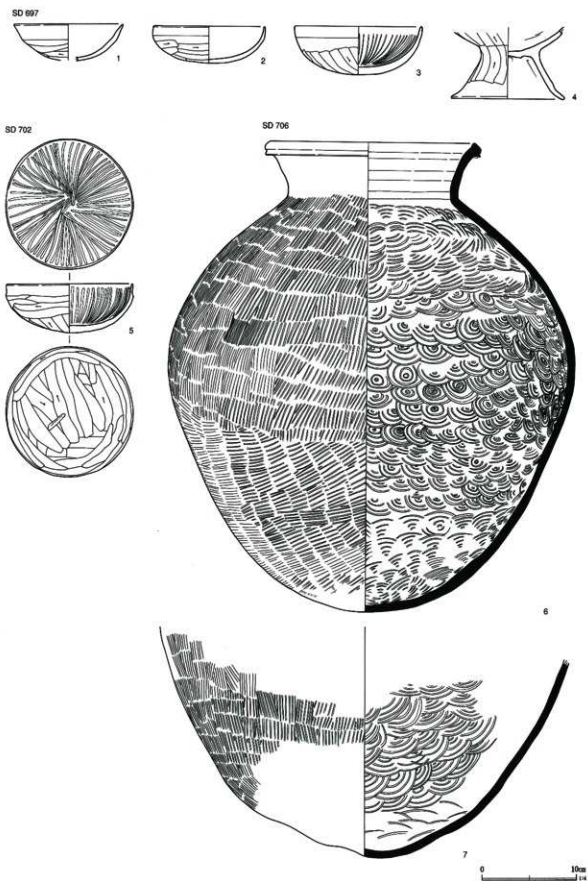
第698号溝跡 (第309図)

M・N-28・29グリッドにかけて検出された。

本溝跡は南北方向に長い不整形円形で、掘り込みは皿状で浅かった。また南側では第696号溝跡に切られていた。

規模は、全長8.55m、幅540cm、深さはN-29グリッドで55cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、出土しなかった。



第318图 满跡出土遺物 (6)

第699号溝跡 (第319図)

K-31グリッドで検出された。

本溝跡は東側調査区の南西コーナー付近で検出した。細長く短い溝跡で、緩やかな弧を描いていた。重複する遺構はなかった。

規模は、全長2.5m、幅10~20cm、深さは6cmであった。

遺物は、土師器甕破片が1点出土した。

第700号溝跡 欠番 (第11号方形周溝墓に変更)

第701号溝跡 欠番 (第11号方形周溝墓に変更)

第702号溝跡 (第309図)

北側はL-29、南側はM-30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は北西から南東方向に調査区を斜めに走る溝跡であった。北側部分が一段深くなっていた。幅の広い掘り込みのやや浅い溝跡であった。本溝跡の北側では、道路状遺構とした第680号溝跡と重複していた。南側は第12号方形周溝墓と接していた。

規模は、全長9.95m、幅80~104cm、深さはL・M-30グリッドで27cmであった。断面形態は皿状であった。

遺物は、第318図5に図示した、放射状暗文を施した丸底甕が出土した。その他、土師器甕底部破片などが出土している。

第703号溝跡 (第309・319図)

北側はM-29、南側はO-30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は調査区中央付近に位置し、北西から南東方向に斜めに延びていた。北側では第396号井戸跡と重複し、南側は第714号溝跡と接していた。また本溝跡の北側には第696号溝跡がほぼ並行して検出されている。

規模は、全長20m、幅20~70cm、深さはN-29グリッドで6cmであった。

出土遺物は、土師器甕破片が少量出土した。

第704号溝跡 (第319図)

N-30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は幅の狭い短い溝跡であった。北東から南西方向に延びていた。南側では第706号溝跡と接していた。

規模は、全長3.7m、幅10~35cm、深さはN-30グリッドで5cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第705号溝跡 (第319図)

N-30グリッドで検出された。

本溝跡は幅の狭い短い溝跡であった。北東から南西方向に延びていた。北側には第704号溝跡が並行し、南側には第716・717号溝跡が並行していた。いずれも類似した性格の溝跡と考えられる。

規模は、全長6m、幅20~30cm、深さは4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第706号溝跡 (第319図)

東側はO-30、西側はM-30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東側調査区の南東付近で検出した。西側は、第12号方形周溝墓を挟んで第702号溝跡に繋がるものと考えられる。また、東側は第714号溝跡に接していた。幅の広い溝跡であった。

規模は、全長13.8m、幅90~110cm、深さはN-30グリッドで35cmであった。

遺物は、第318図6・7に図示した須恵器大甕が出土した。6は外面全体に平行叩きを施し、内面には青海波文が全面に残る。形態は球形を呈し、胴部上半に最大径を持つ。底部は丸底で、丁寧に叩きだされている。また頸部は細く、やや短頸の口縁部である。7はさらに大型の甕で、底部のみ出土した。底部の形態はやや歪みがみられる。



第319図 溝跡 (5)

第707号溝跡 (第309図)

K-29グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に延びる細長い溝跡であった。溝跡の東側部分では二股状に分岐していた。

規模は、全長4.5mと2.7m、幅10~40cm、深さは7cmであった。

遺物は、土師器甕破片などが少量出土した。

第708号溝跡 (第309図)

K-29グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に延びていた。西側は第711号溝跡に接していた。

規模は、全長3.5m、幅45~60cm、深さは3cmであった。

遺物は、土師器甕破片少量、扁平な石1点が出土した。

第709号溝跡 (第309図)

K-29グリッドで検出された。

本溝跡は北西から南東方向に延びる短い溝跡であった。北側では第708号溝跡に接していた。南側は緩やかに立ち上がり途切れていた。本溝跡の西側3.5mほどの地点に第660号溝跡が並行して検出された。

規模は、全長3.5m、幅20~30cm、深さは4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第710号溝跡 (第309図)

N-29グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に短く延び、西側に枝状の溝跡を伴っていた。

規模は、全長南北2m、北西2m、幅15~50cm、深さは15cmであった。

遺物は、土師器甕破片が3点出土した。

第711号溝跡 (第309図)

M-28グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向から東西方向に曲がったし字状の溝跡であった。やや幅の広い掘り込みが浅い溝跡で、西側先端部はやや深くなっていた。

規模は、全長6.5m、幅30~90cm、深さは22cmであった。断面形態は箱形であった。

遺物は、土師器甕破片などが少量出土した。

第712号溝跡 (第309図)

M-28グリッドで検出された。

本溝跡は北西から南東方向に直線的に延びる細い溝跡であった。西側には第711号溝跡が位置し、東側には第11号方形周溝基が位置していた。さらにその東側には第52号掘立柱建物跡が検出された。

規模は、全長4.9m、幅25~40cm、深さは13cmであった。

遺物は、土師器甕破片などが少量出土した。

第713号溝跡 欠番

第714号溝跡 欠番 (第19号方形周溝基に変更)

第715号溝跡 (第309図)

K-28グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に走る非常に短い溝跡であった。西側は第671号溝跡に接していた。

規模は、全長0.95m、幅15cm、深さは6cmであった。

遺物は、出土しなかった。

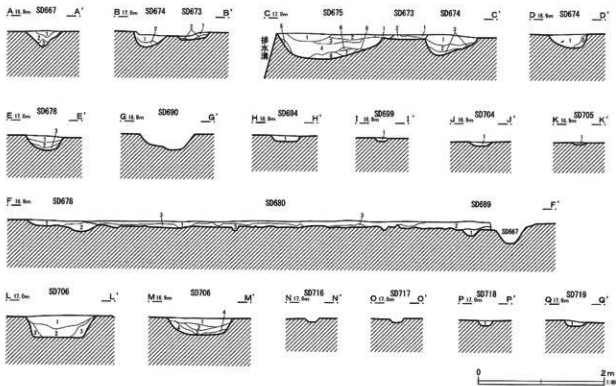
第716号溝跡 (第319図)

N-30グリッドで検出された。

本溝跡は北東から南西方向に延びる細長い溝跡であった。北側は第706号溝跡に切られていた。周囲には類似した第704・705・717号溝跡が同じ方向に検出されている。

規模は、全長3.5m、幅20~50cm、深さは5cmであった。

遺物は、出土しなかった。



第667号溝跡 (A-A')

- | | | | | |
|---|---------|---------|--------------------------------|--------------|
| 1 | にがい黄褐色土 | 10YR5/3 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 3$ mm) 少量 | しまりあり |
| 2 | 褐色土 | 10YR4/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 3$ mm) 少量 | しまりあり |
| 3 | 黄灰色土 | 2.5Y4/1 | 粘質土層 | しまりややあり 粘性強い |

第673号溝跡 (A-A'・B-B')

- | | | | | |
|---|------|---------|--|-----------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 3$ mm) ・ロームブロック少量 | しまり 粘性あり |
| 2 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 ($\phi 2 \sim 5$ mm) | ロームブロック多量 |

第674号溝跡 (B-B')

- | | | | | |
|---|------|---------|-----------------------------|-------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 2$ mm) | 少量 しまり 粘性あり |
| 2 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | ローム粒子 ($\phi 2 \sim 5$ mm) | 少量 しまり 粘性あり |

第674号溝跡 (C-C')

- | | | | | | |
|---|------|---------|--------------------------|-----------------------------|--------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 暗褐色土粒子 ($\phi 2$ mm) 含む | しまりあり 粘性ややあり | |
| 2 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 暗褐色土粒子 ($\phi 2$ mm) 多量 | 黄褐色土ブロック ($\phi 7$ mm) 少量 | しまりややあり 粘性あり |
| 3 | 褐色土 | 10YR5/1 | 粘性のある灰色土主体 | 黄褐色土ブロック ($\phi 10$ mm) 含む | しまりややあり 粘性あり |

第674号溝跡 (D-D')

- | | | | | |
|---|------|---------|-----------------------------|---------------|
| 1 | 暗褐色土 | 10YR3/3 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 2$ mm) | 微量 しまり 粘性弱い |
| 2 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 2$ mm) | 多量 しまりあり 粘性強い |

第675号溝跡 (C-C')

- | | | | | | |
|---|---------|-----------|--|--------------------------------|----------------|
| 1 | 黒色土 | 10YR1.7/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) ・ロームブロック多量 | しまり 粘性あり | |
| 2 | 黒色土 | 10YR2/1 | 炭化土粒子 ($\phi 1 \sim 3$ mm) ・炭化物粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) | 微量 しまり 粘性あり | |
| 3 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 2$ mm) | 炭に含む しまり 粘性あり | |
| 4 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) 含む | 炭化物粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) 微量 | 土層片混入 しまり 粘性あり |
| 5 | にがい黄褐色土 | 10YR5/4 | ロームブロックを主体とする層 | 4層土混入 | |
| 6 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | 4層中にロームブロックが集中する部分 | | |
| 7 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | ローム粒子 ($\phi 3$ mm) 微量 | 土層片含む しまり 粘性あり | |
| 8 | 黒褐色土 | 10YR3/3 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 6$ mm) | 多量 しまり 粘性あり | |

第678号溝跡 (E-E')

- | | | | | |
|---|-------|---------|--|--------------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | 暗褐色土粒子 ($\phi 2$ mm) 含む | しまりあり 粘性なし |
| 2 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | 黄褐色土粒子 ($\phi 3$ mm) ・暗褐色土粒子 ($\phi 2$ mm) | 少量 しまりあり 粘性ややあり |
| 3 | 灰黄褐色土 | 10YR5/2 | 堆山の土多量 | 粘性のある暗灰色土少量 しまりややあり 粘性あり |

第678号溝跡 (F-F')

- | | | | | |
|---|------|----------|-----------------------------|-----------------|
| 1 | 黒褐色土 | 7.5YR3/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 3$ mm) | 少量 しまり 粘性ややあり |
| 2 | 暗灰色土 | XR/0 | 褐色土粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) | 少量 しまりあり 粘性ややあり |

第680号溝跡

- | | | | | |
|---|-------|---------|-------------|---|
| 1 | 黒色土 | 2.5Y2/1 | 戻じりのない暗褐色土 | 部分的に黒い しまりややあり |
| 2 | 暗灰色土 | 10YR5/1 | やや暗い堆山のような土 | 褐色土粒子 ($\phi 1 \sim 1$ mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり |
| 3 | 灰黄褐色土 | 10YR5/2 | やや暗い堆山のような土 | 褐色土粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) 少量 |

第689号溝跡

- | | | | | |
|---|-----|---------|---------------------------|--|
| 1 | 褐色土 | 10YR4/1 | SD680の底に2~3cmある遺跡のおち込みの覆土 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) ・褐色土粒子 ($\phi 1 \sim 1$ mm) 少量 しまり 粘性ややあり |
|---|-----|---------|---------------------------|--|

第694号溝跡 (H-H')

- | | | | | |
|---|-------|---------|-----------------------------|-------------|
| 1 | 灰黄褐色土 | 10YR4/2 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 2$ mm) | 微量 しまり 粘性あり |
|---|-------|---------|-----------------------------|-------------|

第699号溝跡 (I-I')

- | | | | | |
|---|------|---------|-----------------------------|-------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 2$ mm) | 微量 しまり 粘性あり |
|---|------|---------|-----------------------------|-------------|

第704号溝跡 (J-J')

- | | | | | |
|---|-----|---------|-----------------------------|-------------|
| 1 | 褐色土 | 10YR4/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 2$ mm) | 少量 しまり 粘性あり |
|---|-----|---------|-----------------------------|-------------|

第706号溝跡 (K-K')

- | | | | | |
|---|-----|---------|--------------------------------|-------------|
| 1 | 褐色土 | 10YR4/1 | ロームブロック ($\phi 1 \sim 10$ mm) | 少量 しまり 粘性あり |
|---|-----|---------|--------------------------------|-------------|

第706号溝跡 (L-L')

- | | | | | |
|---|------|---------|---|---------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | ローム粒子 ($\phi 1$ mm) ・黄土粒子 ($\phi 1$ mm) ・炭化物粒子 ($\phi 3$ mm) | 微量 しまり 粘性あり |
| 2 | 暗灰色土 | 10YR4/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) | 少量 しまり 粘性あり |
| 3 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒子 ($\phi 1 \sim 5$ mm) | 多量 しまりあり 粘性強い |

第706号溝跡 (M-M')

- | | | | | |
|---|-------|---------|---------------------------------------|--------------|
| 1 | 灰黄褐色土 | 10YR5/2 | 堆山ブロック ($\phi 1 \sim 5$ mm) ・マンガン含む | 炭化物微量 |
| 2 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 堆山ブロック ($\phi 1 \sim 10$ mm) ・マンガン含む | |
| 3 | 褐色土 | 10YR4/1 | 堆山ブロック ($\phi 1 \sim 10$ mm) | 多量 炭化物含む |
| 4 | 黒色土 | 10YR2/1 | 堆山ブロック ($\phi 1 \sim 20$ mm) | マンガン多量 炭化物含む |

第718号溝跡 (P-P')

- | | | | | |
|---|-----|---------|---------------------------------|------------------------------|
| 1 | 褐色土 | 10YR6/1 | 黄褐色粘土ブロック ($\phi 2 \sim 3$ mm) | 炭に含む 炭化物粒子 ($\phi 1$ mm) 少量 |
|---|-----|---------|---------------------------------|------------------------------|

第719号溝跡 (Q-Q')

- | | | | | |
|---|-----|---------|---------------------------------|------------------------------|
| 1 | 褐色土 | 10YR6/1 | 黄褐色粘土ブロック ($\phi 2 \sim 3$ mm) | 炭に含む 炭化物粒子 ($\phi 1$ mm) 少量 |
|---|-----|---------|---------------------------------|------------------------------|

第717号溝跡 (第319図)

N-30グリッドで検出された。

本溝跡は北東から南西方向に延びる細長い溝跡であった。北側は第706号溝跡に切られていた。周囲には類似した第704・705・716号溝跡が同じ方向に検出されている。

規模は、全長3.2m、幅15～35cm、深さは5cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第718号溝跡 (第319図)

O-30グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に延びる溝跡で、東側調査区の南東隅に検出した。東側は調査区域外へ続く。本溝跡の南側には類似した第719号溝跡が位置していた。

規模は、全長5.1m、幅20～55cm、深さは8cmであった。

遺物は、須恵器坏破片1点が出土した。

第719号溝跡 (第319図)

O-30グリッドで検出された。

本溝跡は東西方向に延びる溝跡で、東側調査区の南東隅に検出した。東側は調査区域外へ続いていた。本溝跡の北側には類似した第718号溝跡が位置していた。

規模は、全長3.2m、幅20～55cm、深さは8cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第720号溝跡 (第309図)

M-29グリッドで検出された。

本溝跡は緩やかな弧を描いて南北方向に延びていた。本溝跡の南側は第721号溝跡と接し、第722・723号溝跡が検出されている。

規模は、全長2.5m、幅20～25cm、深さはM-29グリッドで4cmであった。

遺物は、土師器甕破片などが少量出土した。

第721号溝跡 (第309図)

M-29・30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は南北方向にほぼ直線的に延びていた。北側は第720号溝跡と接し、南側には同じ方向に延びる第722・723号溝跡が検出されている。

規模は、全長3.65m、幅25～30cm、深さはM-29グリッドで4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第722号溝跡 (第309図)

M-29・30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は北東から南西方向に直線的に延びる短い溝跡であった。

規模は、全長1.5m、幅15～20cm、深さはM-29グリッドで4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第723号溝跡 (第309図)

M-29・30グリッドにかけて検出された。

本溝跡は北東から南東方向に直線的に延びる短い溝跡であった。

規模は、全長2.25m、幅15～35cm、深さはM-30グリッドで4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第724号溝跡 欠番 (第12号方形周溝墓に変更)

第725号溝跡 (第309図)

K-27・28グリッドにかけて検出された。

本溝跡は東西方向に緩やかに屈曲しながら延びていた。幅の広いやや深さのある溝跡で、中央部分が一段深く掘り込まれていた。重複する遺構は、東側で第326号住居跡を切り込み、第668・670号溝跡に切られていた。

規模は、全長8.7m、幅70～120cm、深さはK-28グリッドで28cmであった。

遺物は、須恵器坏、土師器甕破片が少量出土した。

第726号溝跡 (第309図)

J-28グリッドで検出された。

本溝跡は東側調査区の北西コーナー部で検出した。掘り込みの浅い短い溝跡であった。南西側では第671号溝跡が接していた。また周囲には同じような形態の第659・661・662・688号溝跡が検出されている。いずれも同じ方向に延びていた。

規模は、全長1.95m、幅35～60cm、深さは10cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第727号溝跡 (第319図)

北側はM-30、南側はL-31グリッドにかけて検出された。

本溝跡は北東から南西方向に直線的に延びる溝跡であった。南西側は第667号溝跡と重複していた。本溝跡の南東側にはほぼ並行して第12号方形周溝墓が位置していた。

規模は、全長7m、幅50～70cm、深さはL-30グリッドで15cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第728号溝跡 (第309図)

L-30グリッドで検出された。

本溝跡は南北方向に延びる非常に短い溝跡であった。

規模は、全長2.1m、幅15～25cm、深さは10cmであった。

遺物は、土師器破片などが少量出土した。

第729号溝跡 (第319・326図)

M-31・32、N-31～34グリッドにかけて検出された。本溝跡は、南北方向に細長く直線的に延びる溝跡であった。

重複する遺構は、北寄りでは第731号溝跡が直行していた。

規模は、全長29.5m、幅10～25cm、深さは4～10cm

であった。

遺物は、土師器破片が少量出土した。

第730号溝跡 欠番 (第14号方形周溝墓に変更)

第731号溝跡 (第319図)

N・O-32グリッドにかけて検出された。東西方向にほぼ直線的に延びる溝跡であった。

調査区北寄りでは第12号方形周溝墓と重複し、西側で検出した第747号溝跡と連続する可能性がある。

規模は、全長17.75m、幅45～88cm、深さは10～18cmであった。

遺物は、第322図1～4に図示した。1・2は須恵器長脚二段三方透かしの高坏、3は須恵器壺の口縁部破片である。4は石製紡錘車である。

第732号溝跡 (第319図)

K-31・32グリッドにかけて検出された。調査区北西コーナー部分に南北方向へ延びる溝跡であった。

北側は第673号溝跡と重複し、調査区外に延びていた。南側は第674号溝跡と重複していた。

規模は、全長9m、幅30～63cm、深さは6～10cmであった。

遺物は、第322図5に図示した土師器坏が出土した。

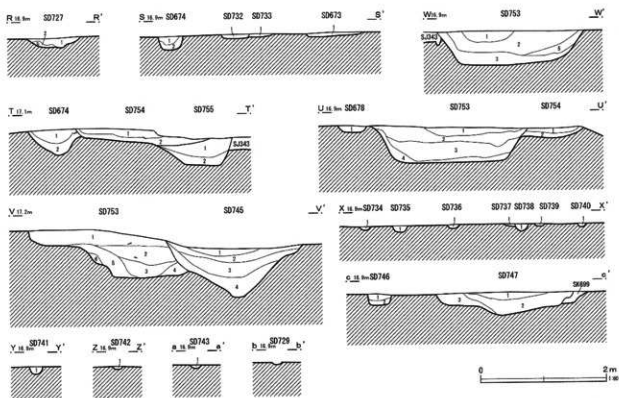
第733号溝跡 (第319図)

K-32・33、L-33グリッドにかけて検出された。調査区の北西コーナー部分で北西から南東に延びる溝跡であった。

本溝跡は東側で検出された第673号溝跡と並行して延びていた。北側は第732号溝跡と重複し、南側は第754・755号溝跡と重複していた。

規模は、全長6.5m、幅50～100cm、深さは8～11cmであった。

遺物は、第322図6に図示した須恵器坏の底部破片が出土した。



第773号溝跡 (S-S')

- 1 黒褐色土 10YR3/1 ローム粒子 (φ1~3mm)・ロームブロック少量
2 黒褐色土 10YR3/3 しまり・粘性あり

第774号溝跡 (T-T'-S-S')

- 1 暗褐色土 10YR2/3 ローム粒子 (φ1~2mm) 微量 しまり・粘性弱い
2 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒子 (φ1~2mm) 多量 しまりあり 粘性弱い

第778号溝跡 (U-U')

- 1 黒褐色土 2.5Y3/1 黄褐色土粒下 (φ1~2mm) 多量 焼土粒子 (φ1~2mm) 微量

第727号溝跡 (R-R')

- 1 黒褐色土 7.5YR3/1 ローム粒子 (φ1~3mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり
2 黄褐色土 10YR8/4 ローム土主体 しまりあり 粘性ややあり

第732号溝跡 (S-S')

- 1 黒褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量
2 黒褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量

第734号溝跡 (X-X')

- 1 黒褐色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量

第735号溝跡

- 1 黒褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量

第736-737号溝跡

- 1 黒褐色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量

第738号溝跡

- 1 黒褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量

第739-740号溝跡

- 1 黒褐色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量

第741号溝跡 (Y-Y')

- 1 黒褐色土 10YR4/1 しまりある黒褐色土主体 黄褐色土ブロック (φ20mm) 斑に含む しまりあり 粘性なし

第742号溝跡 (Z-Z')

- 1 暗褐色土 10YR4/2 暗褐色土のしまりある土 特に混入物はみられない しまり・粘性あり

第743号溝跡 (a-a')

- 1 黒褐色土 10YR3/1 黒褐色のしまりある土主体 黒褐色の粒子 (φ5mm) 少量 しまりあり 粘性なし

第745号溝跡 (V-V')

- 1 灰色シルト 7.5YR/1 鉄分 (φ1~2mm) 少量
2 灰色シルト 7.5YR/1 鉄分 (φ1~2mm)・灰色粘土多量
3 灰色シルト 7.5YR/1 貝・木片・葉などの有機物多量 鉄分 (φ1~2mm) 少量
4 オリーブ黒色粘土 5Y2/1 黄褐色粘土ブロック (φ1~5mm) 多量 炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量

第746号溝跡 (c-c')

- 1 黒褐色土 2.5Y3/1 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量 炭化物粒子 (φ1~2mm) 微量

第747号溝跡

- 1 黒色土 10YR2/1 焼土粒子 (φ1~2mm)・炭化物粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量
2 黒褐色土 10YR4/1 鉄分多量 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量
3 黄褐色土 2.5Y4/1 黄褐色土多量 (堆山崩落土)

第753号溝跡 (U-U')

- (W-W')
1 黒色土 10YR2/1 炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量
2 黒褐色土 2.5Y3/1 鉄分多量 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・焼土粒子 (φ1~2mm)・炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量
3 オリーブ黒色シルト 5Y3/1 鉄分多量 緑灰色粘土ブロック (φ3~10mm) 炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量
4 緑灰色シルト 7.5GY4/1 緑灰色の堆山土主体 (堆山崩落土)
5 黒褐色土 10YR3/1 鉄分・黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 多量 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量

第753号溝跡 (V-V')

- 1 灰色土 5X/0 鉄分多量 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量
2 黒色土 10YR2/1 鉄分大量 焼土ブロック (φ2~3mm) 多量 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量
3 オリーブ黒色シルト 5Y3/1 鉄分多量 緑灰色粘土ブロック (φ3~10mm)・炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量
4 黒色土 5Y2/1 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量
5 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量
6 黒褐色土 2.5Y3/2 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量

第754号溝跡 (U-U')

- 1 黄褐色土 2.5Y4/1 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量
2 黒褐色土 2.5Y3/1 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量

第755号溝跡 (T-T')

- 1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量 焼土粒子 (φ2~3mm)・炭化物粒子 (φ2~3mm) 微量
2 暗褐色土 10YR3/3 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量

第321図 溝跡 (7)

第734号溝跡 (第319図)

L-32グリッドで検出された。

調査区北側に位置し、東西方向に延びる細く短い溝跡であった。

本溝跡と同様の溝跡が南側に数条検出されている。また周辺にはピットや、楕円形をした形態の小さな土坑が連続して検出された第3号道路状遺構が位置していた。

規模は、全長288m、幅15～30cm、深さは5cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第735号溝跡 (第319図)

L-32グリッドで検出された。

本溝跡の北側には第734号溝跡が並行し、南側には第736～740号溝跡が並行して延びていた。いずれも東西方向に走る細く短い溝跡であった。

規模は、全長4m、幅25～30cm、深さは6～11cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第736号溝跡 (第319図)

L-32グリッドで検出された。

本溝跡の北側には第734・735号溝跡が並行し、南側には第737～740号溝跡が並行して延びていた。いずれも東西方向に走る細く短い溝跡であった。

規模は、全長3.05m、幅20～30cm、深さは6～11cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第737号溝跡 (第319図)

L-32グリッドで検出された。

本溝跡の北側には第734～736号溝跡が並行し、南側には第738～740号溝跡が並行して延びていた。いずれも東西方向に走る細く短い溝跡であった。

規模は、全長4.38m、幅18～28cm、深さは4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第738号溝跡 (第319図)

L-32グリッドで検出された。

本溝跡の北側には第734～737号溝跡が並行し、南側には第739・740号溝跡が並行して延びていた。いずれも東西方向に走る細く短い溝跡であった。

規模は、全長6.38m、幅20～35cm、深さは5～15cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第739号溝跡 (第319図)

L-32グリッドで検出された。

本溝跡の北側には第734～738号溝跡が並行し、南側には第740号溝跡が並行して延びていた。いずれも東西方向に走る細く短い溝跡であった。

規模は、全長2.65m、幅10～15cm、深さは4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第740号溝跡 (第319図)

L-32グリッドで検出された。

本溝跡の北側には、第734～739号溝跡が並行し、南側には規模の大きな第746・747号溝跡が並行して延びていた。いずれも東西方向に走る溝跡である。

規模は、全長3.75m、幅10～20cm、深さは5cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第741号溝跡 (第319図)

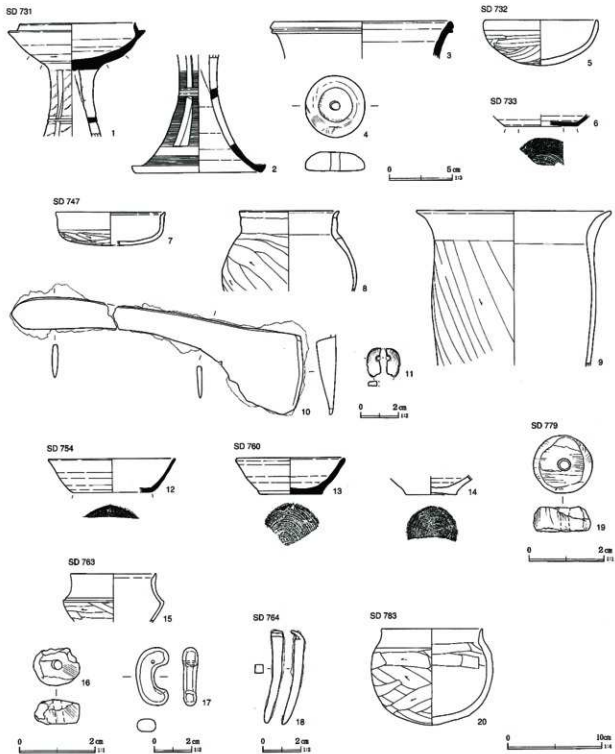
N-32グリッドで検出された。

東西方向に延びる溝跡であった。

南側には、規模の類似した第742・743号溝跡が位置していた。

規模は、全長4.5m、幅15～30cm、深さは4～13cmであった。

遺物は、出土しなかった。



第322図 溝跡出土遺物 (7)

第742号溝跡 (第319図)

N・O-32グリッドにかけて検出された。東西方向に延びる細く短い溝跡であった。北側には第741号溝跡、南側には第743号溝跡の類似した2条の溝跡が位置していた。また、本溝跡の

東端には第401号井戸跡、西端には第12号方形周溝墓が重複していた。

規模は、全長1.5m、幅8cm、深さは2~5cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第743号溝跡 (第319図)

N-32グリッドで検出された。

東西方向に延びる細く短い溝跡であった。

北側には第741・742号溝跡が位置していた。南側には第330号住居跡を検出した。

規模は、全長0.6m、幅8cm、深さは4～7cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第744号溝跡 欠番

第745号溝跡 (第319・326図)

L-33～37グリッドにかけて検出された。

調査区の西寄りを南北方向に直線的に延びる溝跡であった。南側は谷部に面したところで、西側に「L」字状に折れていた。

重複する遺構は、北側で第753号溝跡、中央付近で第760・761号溝跡と交差していた。

規模は、全長19.6m、幅42～100cm、深さは9～103cmであった。

遺物はほとんど出土しなかった。

第746号溝跡 (第319図)

L・M-32グリッドにかけて検出された。

北東から南西方向に延びる溝跡であった。

南側には、第747号溝跡が並行して走っていた。重複する遺構は、西側には第763号溝跡、東側には第12号方形周溝墓が位置していた。

規模は、全長3.1m、幅16～30cm、深さは14～22cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第747号溝跡 (第319図)

L-32・33、M-32グリッドにかけて検出された。

北東から西南方向にやや蛇行して延びる溝跡であった。北側には、第746号溝跡が並行して走っていた。また北東端から第748号溝跡が分岐し延びていた。重

複する遺構は、南西寄りで第763号溝跡が位置していた。また、本溝跡の中央付近では第699号土坑と切り合っていた。

規模は、全長4.08m、幅40～84cm、深さは23～34cmであった。

遺物は、第322図7～11に図示した。7は土師器の比企型坏、10は鉄製鎌で研ぎ減りが著しい。

第748号溝跡 (第319・326図)

M-32・33、L-33・34グリッドにかけて検出された。

北東から南西に斜めに延びる細長い溝跡であった。北側は、第747号溝跡から分岐していた。本溝跡の中央付近では第15号方形周溝墓、第762号溝跡と重複し、南端では第745号溝跡と重複していた。

規模は、全長3.9m、幅8～14cm、深さは6～18cmであった。

遺物は、土師器甕の破片が少量出土した。

第749号溝跡 (第319図)

N・O-31グリッドにかけて検出された。

東西方向に延びる細長い溝跡であった。

西側には、第12号方形周溝墓、東側には第14号方形周溝墓が位置していた。

規模は、全長1.2m、幅10～12cm、深さは10cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第750号溝跡 (第319図)

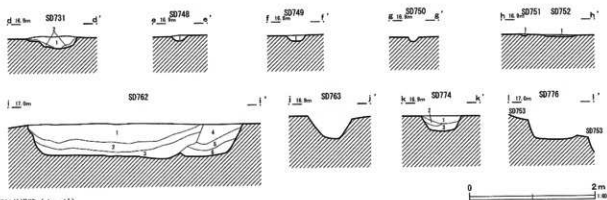
O-32グリッドで検出された。

東西方向に延びる細く短い溝跡であった。

西寄りで検出した第741～743号溝跡と類似する。重複する遺構には、東寄りで第14号方形周溝墓と第691号土坑が位置していた。

規模は、全長0.7m、幅5～8cm、深さは6cmであった。

遺物は、出土しなかった。



- 第731号溝跡 (d-d')
- 1 暗黒茶褐色土 2.813/1 しまりある暗灰色土主体 黄褐色土ブロック (φ5mm)・暗灰色粘土少量 しまりあり 粘性なし
 - 2 暗灰色土 101R4/1 主体土は1層と同じ 黄褐色土ブロック (φ10mm) 多量 しまりあり 粘性ややあり
- 第748号溝跡 (a-e')
- 1 黒褐色土 101R3/1 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量
- 第749号溝跡 (f-f')
- 1 暗灰色土 101R4/1 黄褐色土ブロック (φ10~20mm)・酸化鉄粒子 (φ2mm) 含む しまりあり 粘性なし
- 第751号溝跡 (h-h')
- 1 黒褐色土 101R3/1 黄褐色土ブロック (φ1~5mm) 部分的に多量 しまりなし 粘性あり
- 第752号溝跡
- 1 黒褐色土 101R3/1 黄褐色土ブロック層に含む しまり・粘性あり

- 第762号溝跡 (i-i')
- 1 暗灰色土 101R4/1 鉄分多量 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量 供作物粒子 (φ2~3mm) 微量
 - 2 黄灰色土 2.814/1 鉄分・黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量
 - 3 黒褐色土 2.814/1 鉄分・黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量
 - 4 黒褐色土 101R3/1 鉄分多量 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量
 - 5 黒褐色土 101R3/2 鉄分多量 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 少量
 - 6 暗褐色土 101R3/3 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量 鉄分少量
- 第774号溝跡 (k-k')
- 1 暗褐色土 101R3/3 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 微量
 - 2 黄褐色土 101R3/6 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量
 - 3 黒褐色土 101R3/2 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3mm) 少量

第323図 溝跡 (8)

第751号溝跡 (第319図)

O-32・33グリッドにかけて検出された。

南北方向に延びる細長い溝跡であった。南側に検出した第333住居跡を挟んで、その南側で検出された第779号溝跡に連続する可能性がある。また、東寄りには第752号溝跡が位置していた。

規模は、全長2.3m、幅5~10cm、深さは2~4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第752号溝跡 (第319図)

O-32グリッドで検出された。

南北方向に延びる幅の広くやや浅い溝跡であった。西側には第751号溝跡が位置していた。重複する遺構は、南寄りで第702号土坑に切られていた。

規模は、全長0.75m、幅20~22cm、深さは4cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第753号溝跡 (第319・326図)

K-33・34、L-31~33グリッドにかけて検出された。

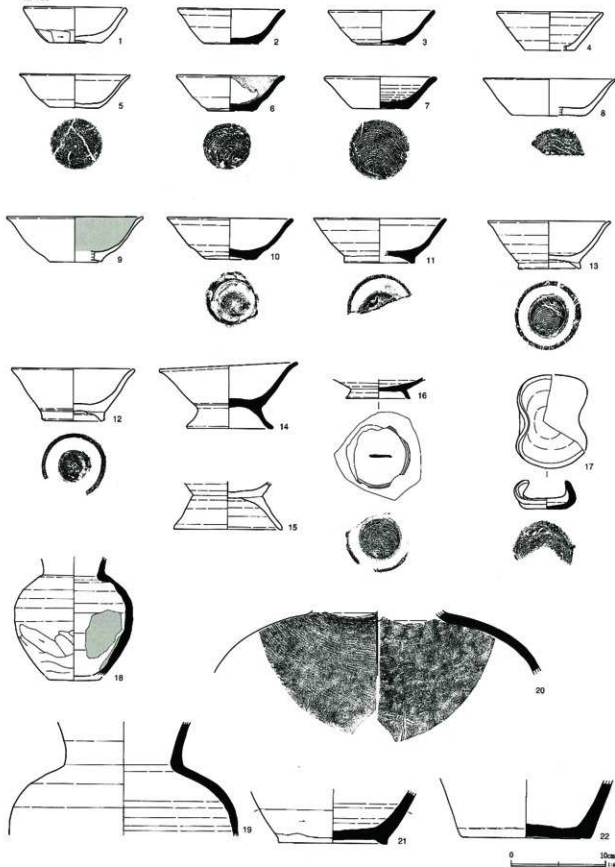
調査区北西寄りを南北方向に延びる規模の大きな溝跡であった。

北側および南側はいずれも調査区域外へ延びていた。重複する遺構は、溝跡中央付近で第745号溝跡に切られていた。また、第674・733号溝跡を切り込んでいた。

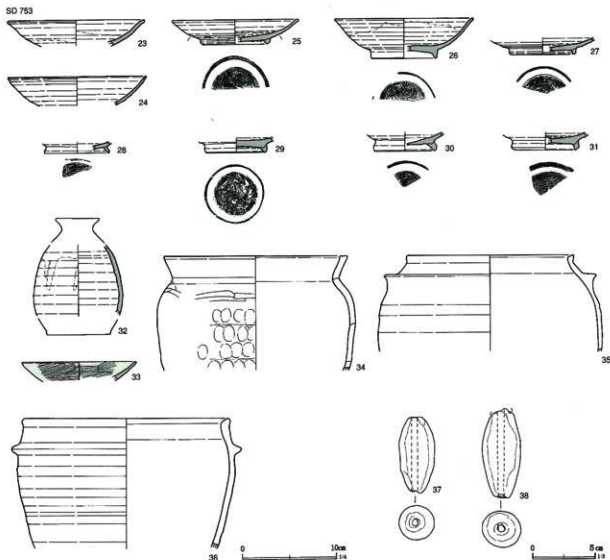
規模は、全長12.5m、幅65~135cm、深さは11~15cmであった。

出土遺物は、第324・325図1~38に図示した。1~10は須恵器坏、11~16は高台付埴である。6の内面には油煙が付着する。9は内黒土器である。16の底部外面には「一」の墨痕が認められる。17は須恵器耳皿である。18は須恵器小型壺で、内面に漆が付着している。22は須恵器甕の破片である。22は末野産と考えられる。23~31は灰釉陶器壺・皿、32は灰釉陶器小瓶の胴部片、33は緑釉陶器皿の破片である。34は在地の甕、35・36は羽釜である。37・38は土鎌である。

SD 753



第324図 溝跡出土遺物 (8)



第325図 溝跡出土遺物 (9)

第754号溝跡 (第319図)

K-32、L-31・32グリッドにかけて検出された。調査区北西コーナーに位置し、北東から南北方向に「く」の字形に屈曲する溝跡であった。

本溝跡の南側には、ほとんど重複し並行する第755号溝跡が位置していた。北東側は第753号溝跡、南西側は第343号住居跡、第674・733号溝跡と重複していた。

規模は、全長3.15m、幅10～50cm、深さは7～23cmであった。

遺物は、第322図12に図示した須恵器坏がある。胎土に白色針状物質が含まれる。

第755号溝跡 (第319図)

K-32・33、L-32グリッドにかけて検出された。調査区北西コーナーに位置し、北東から南北方向に直線的に延びる溝跡であった。

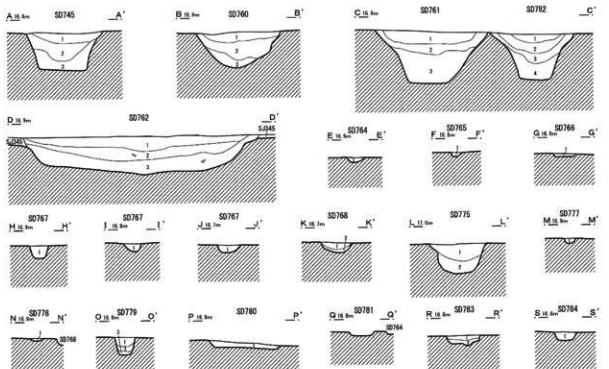
本溝跡の南側には、ほとんど重複し並行する第754号溝跡が位置していた。北東側は第753号溝跡と重複し、南西側は第343号住居跡、第674号溝跡を切って調査区域外へと延びていた。南東側には第745号溝跡が位置していた。

規模は、全長3.15m、幅18～24cm、深さは6～39cmであった。

遺物は、土師器羽釜の破片などが出土した。



第326図 溝跡 (9)



第745号横断 (A-A')

- | | | | | |
|---|-----------|---------|----------------------|-------------------|
| 1 | 灰オリーブ土 | 5Y6/2 | 鉄分多量 | 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 |
| 2 | オリーブ黒色シルト | 5Y3/1 | 鉄分多量 | 炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量 |
| 3 | 黒色シルト | 7.5Y2/1 | 鉄分・炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量 | |

第760号横断 (B-B')

- | | | | |
|---|---------|---------|--|
| 1 | 黄褐色土 | 2.5Y4/1 | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・鉄分多量 |
| 2 | 黒褐色土 | 2.5Y3/1 | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~10mm)・炭化物粒子 (φ2~3mm) 多量 |
| | | | 鉄分少量 |
| 3 | 黒色シルト質土 | 2.5Y2/1 | 黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 多量 |
| | | | 炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 |

第761号横断 (C-C')

- | | | | |
|---|--------|---------|-----------------------|
| 1 | 褐色土 | 10YR4/1 | 黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 大量 |
| 2 | 灰土 | 9A/0 | 鉄分少量 |
| 3 | 緑灰色シルト | 8G/0 | 緑灰色粘土ブロック (φ1~2mm) 多量 |

第762号横断 (D-D')

- | | | | |
|---|------|---------|--|
| 1 | 褐色土 | 10YR4/1 | 鉄分多量 |
| 2 | 黄灰色土 | 2.5Y4/1 | 鉄分多量 |
| | | | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量 |
| | | | 炭化物粒子 (φ2~3mm) 微量 |
| 3 | 黒褐色土 | 2.5Y4/1 | 鉄分・黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量 |
| 4 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 鉄分多量 |
| | | | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量 |
| 5 | 黒褐色土 | 10YR2/1 | 鉄分・黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 多量 |

第764号横断 (E-E')

- | | | | |
|---|------|---------|--------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR2/1 | 緑灰色土粒子 (φ1~2mm) 微量 |
| | | | しりりあり 粘性強い |
| 2 | 褐色土 | 10YR4/1 | 緑灰色土粒子 (φ1~3mm) 含む |
| | | | しりり・粘性あり |

第765号横断 (F-F')

- | | | | |
|---|------|---------|------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 2.5Y3/2 | 黒褐色のしりりある土主体 |
| | | | 黄褐色土粒子 (φ2mm) 少量 |
| | | | しりりあり 粘性なし |

第766号横断 (G-G')

- | | | | |
|---|------|---------|-----------------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR2/1 | 緑灰色土粒子 (φ1~2mm)・緑灰色土ブロック 含む |
| | | | しりりあり 粘性強い |

第767号横断 (H-H'・I-I'・J-J')

- | | | | |
|---|------|---------|------------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | 緑褐色のしりりある土主体 |
| | | | 黄褐色土ブロック (φ1~6mm) 面に含む |
| | | | しりりあり 粘性ややあり |

第768号横断 (K-K')

- | | | | |
|---|------|---------|--------------------------|
| 1 | 褐色土 | 10YR4/1 | 褐色色のシルト質土 |
| | | | 黄灰色土粒子 (φ1mm) 少量 |
| | | | 層下部に炭に 酸化鉄粒子 (φ1~3mm) 微量 |
| | | | 層下部にまじって しまりあり 粘性なし |
| 2 | 黒褐色土 | 2.5Y3/1 | 褐色色のしりりある土 |
| | | | 酸化鉄粒子 (φ1~2mm) 多量 |
| | | | 黄褐色土粒子 (φ2mm) 中〜多量 |

第775号横断 (L-L')

- | | | | |
|---|---------|---------|--------------------------------------|
| 1 | 灰黄褐色土 | 10YR6/2 | 黄褐色土粒子 (1~2mm)・炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量 |
| | | | 粘土ブロック (φ3~5mm)・炭化物ブロック (φ2~5mm) 微量 |
| 2 | にぶい黄褐色土 | 10YR5/2 | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 多量 |
| | | | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量 |

第777号横断 (M-M')

- | | | | |
|---|------|---------|--------------------------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 鉄分多量 |
| | | | 緑灰色土粒子 (φ1~2mm)・緑灰色土ブロック (φ3~5mm) 少量 |

第779号横断 (N-N')

- | | | | |
|---|------|---------|--------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 鉄分多量 |
| | | | 緑灰色土粒子 (φ1~2mm) 少量 |

第779号横断 (O-O')

- | | | | |
|---|------|---------|------------------------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | 黒褐色の土 |
| | | | 黄褐色土粒子 (φ2~12mm) 多量 |
| | | | 炭灰色土粒子 (φ5~12mm)・炭化物粒子 (φ3~7mm) 少量 |
| | | | 粘土ブロック (φ2~6mm) 微量 |
| 2 | 黄褐色土 | 10YR3/2 | 黄褐色でやや粘性のある土 |
| | | | 黄灰色土粒子 (φ2~8mm) 多量 |
| | | | 粘土粒子 (φ2~5mm)・炭化物粒子 (φ3~7mm) 微量 |
| 3 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | 黒褐色で粘性のある土 |
| | | | 炭化鉄粒子 (φ2~10mm) 多量 |
| | | | 粘土粒子 (φ2~5mm) 微量 |
| | | | 炭化物粒子 (φ3~7mm) 微量 |
| | | | 上部に炭 |

第780号横断 (P-P')

- | | | | |
|---|------|---------|------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | 火山灰 (ASB) 均等に少量 |
| | | | 灰白色土粒子 (φ1mm) 微量 |
| | | | しりりあり 粘性強い |

第782号横断 (C-C')

- | | | | |
|---|---------|---------|---|
| 1 | 褐色土 | 10YR4/1 | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~10mm)・鉄分少量 |
| 2 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 黄褐色土ブロック (φ10~10mm)・鉄分多量 |
| | | | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm) 少量 |
| 3 | 黒色シルト質土 | 5Y2/1 | 緑灰色粘土粒子 (φ1~2mm) 少量 |
| 4 | 灰色シルト | 7.5Y4/1 | 緑灰色粘土粒子 (φ1~2mm)・緑灰色粘土ブロック (φ3~5mm) 多量 |
| | | | 炭化物粒子 (φ2~3mm) 微量 |

第783号横断 (R-R')

- | | | | |
|---|------|---------|--------------------------------------|
| 1 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 黄褐色土粒子 (φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 少量 |
| 2 | 黄褐色土 | 10YR5/8 | 黄褐色土を主体とする (地山崩落土) |

第784号横断 (S-S')

- | | | | |
|---|------|---------|----------|
| 1 | 黄灰色土 | 2.5Y4/1 | 鉄分多量 |
| | | | 炭の含有物はなし |

第327図 溝跡 (10)

第756号溝跡 欠番 (第15号方形周溝墓に変更)

第757号溝跡 欠番 (第15号方形周溝墓に変更)

第758号溝跡 欠番 (第15号方形周溝墓に変更)

第759号溝跡 欠番 (第15号方形周溝墓に変更)

第760号溝跡 (第326図)

K-35、L-35・36グリッドにかけて検出された。

調査区西寄りに北西から南東に斜めに延びる溝跡であった。

北側は調査区域外へと延び、南側は谷部へと落ち込んでいた。本溝跡の中央付近では第745・761号溝跡と交差していた。

規模は、全長20m、幅80～135cm、深さは26～55cmであった。

遺物は、第322図13・14に図示した須恵器杯、かわらけ皿が出土した。

第761号溝跡 (第326図)

K・L-35グリッドにかけて検出された。

調査区西寄りに東西方向に延びる幅の広い溝跡であった。

西側は調査区域外へ延び、東側は第745号溝跡と接していた。さらに、第760号溝跡と重複していた。

規模は、全長3.25m、幅165～213cm、深さは70～85cmであった。

遺物は、出土しなかった。

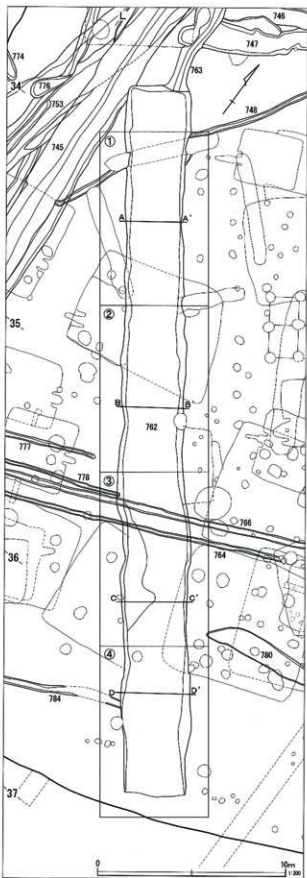
第762号溝跡 (第319・326・328～333図)

L-33・34、M-34・35、N-35・36グリッドにかけて検出された。

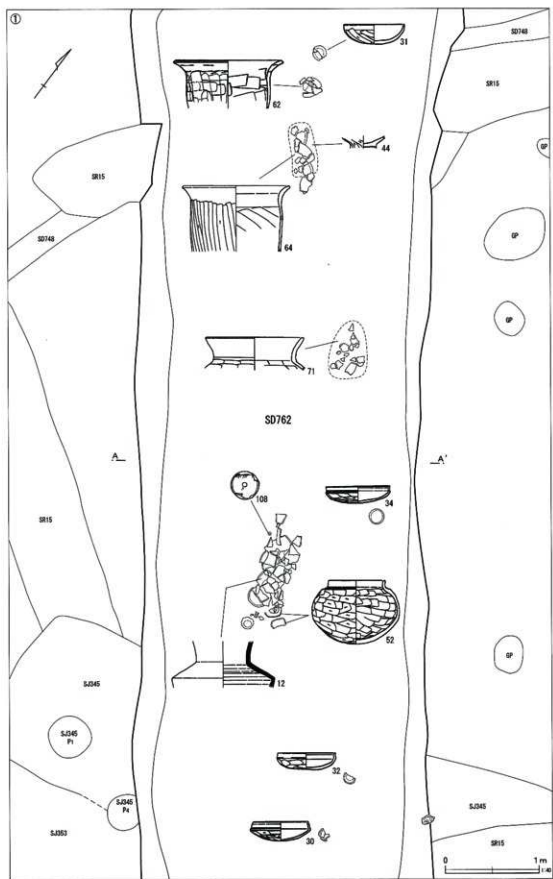
調査区の中央付近を北西から南東方向に斜めに延びる溝跡であった。

北側には、第753号溝跡、第3号道路状遺構が位置していた。南端部は谷部と接していた。

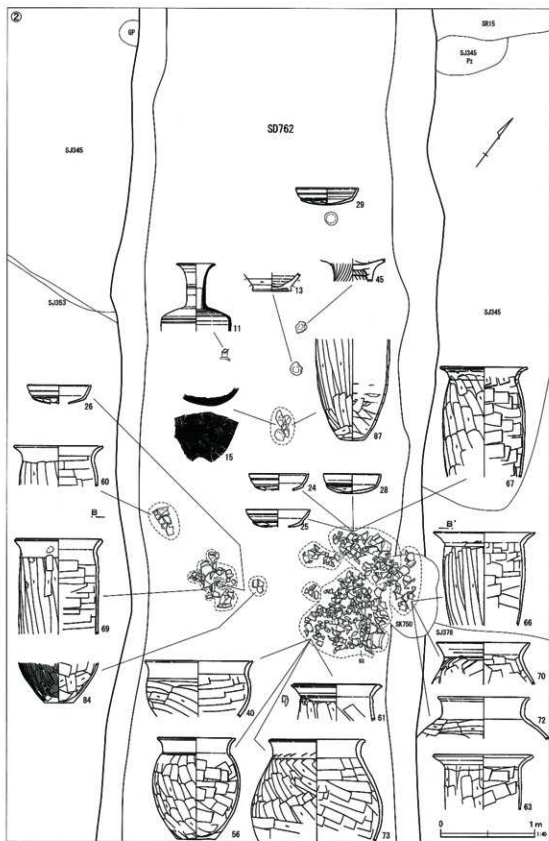
規模は、全長37m、幅288～345cm、深さは46～55cmであった。本溝跡の平面形態は、短冊状で、断面形態は底面が平坦な箱型であった。



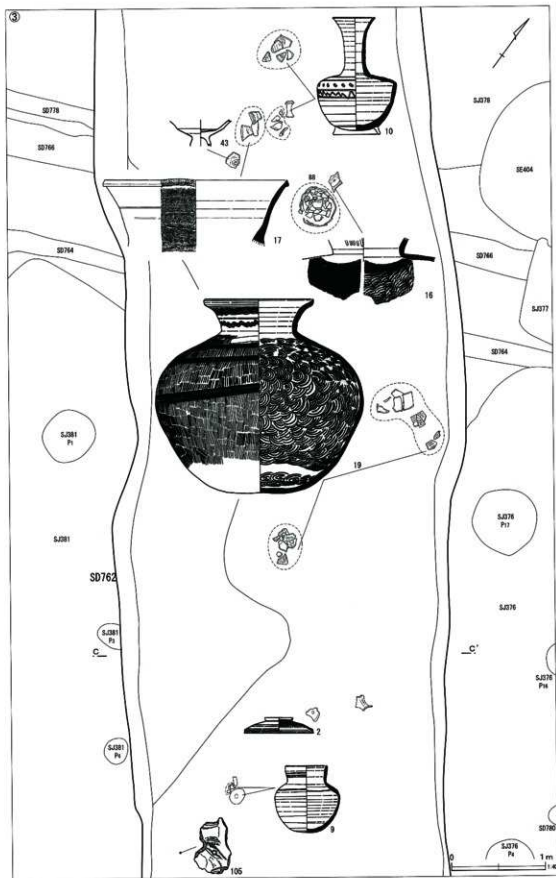
第328図 第762号溝跡区割図



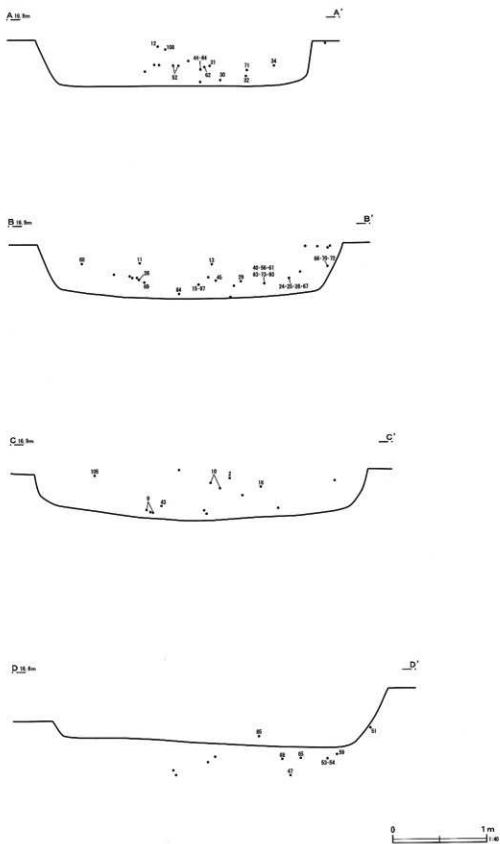
第329图 第762号满踪遗物出土状况 (1)



第330图 第762号唐墓遗址出土状况(2)

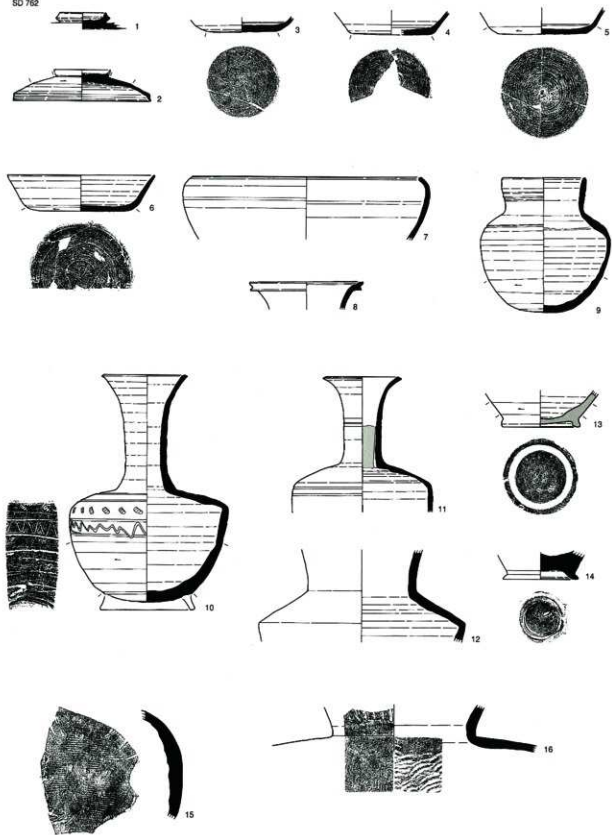


第331图 第762号清跡遺物出土状況 (3)

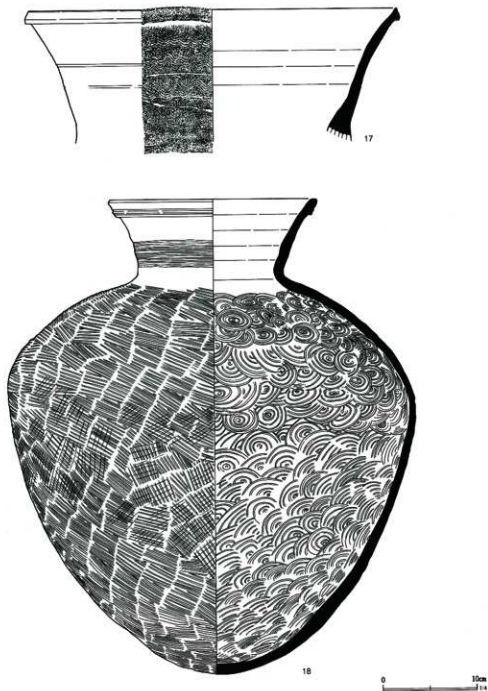


第333图 第762号满族遗址出土状况 (5)

SD 762



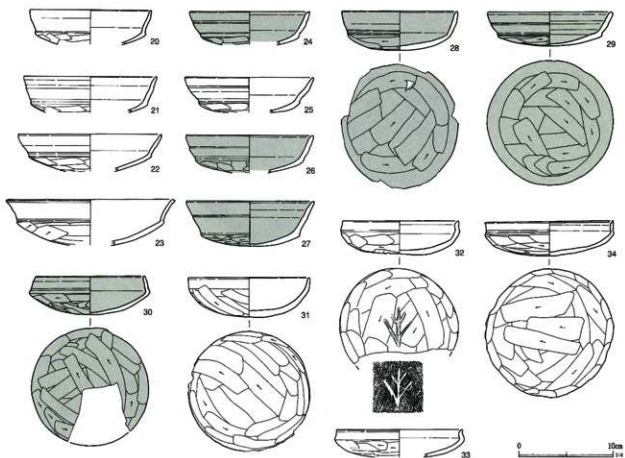
第334图 清跡出土遺物 (10)



第335図 溝跡出土遺物 (11)

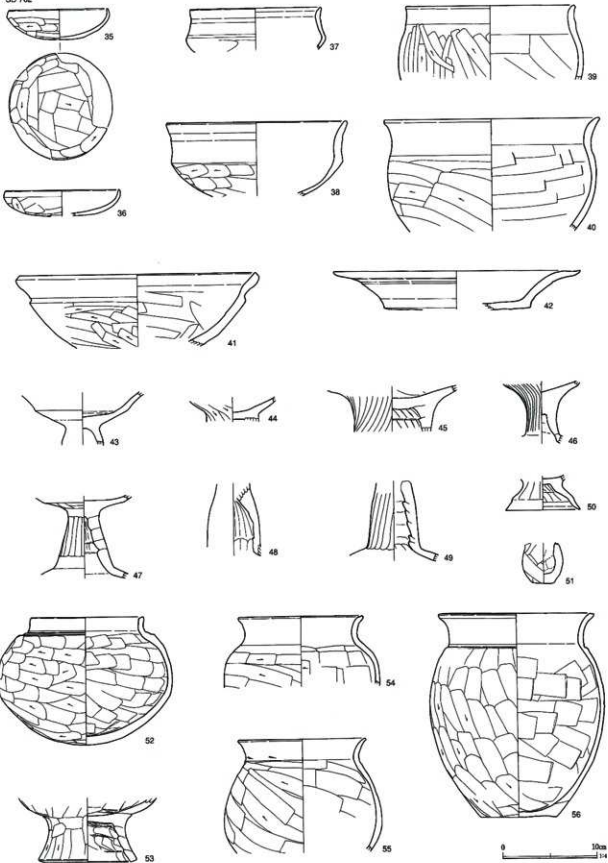
遺物は、第334～340図1～109に図示した。これらの遺物は、古墳時代後期末から奈良時代初頭段階の須恵器・土師器である。1～19は須恵器である。1・2はリング状つまみを持つ無返りの須恵器蓋である。3～6は底部全面回転ヘラケズリを施した須恵器坏である。いずれも針状物質を含むことから南比企産である。7は鉄鉢形須恵器である。8～12・

14は須恵器壺である。9は短頸壺、10・11は長頸壺である。15～19は須恵器大甕である。20～93は土師器である。20・22・23・28は模倣坏、21・24～27・29は有段口縁坏、30は身模倣坏、32～34は比企型坏、31・35・36は北武蔵型坏である。37・38は器高の深い甕である。39～41は鉢である。42～50は高坏である。45は脚部の径が大きく、台付甕の可能性ある。



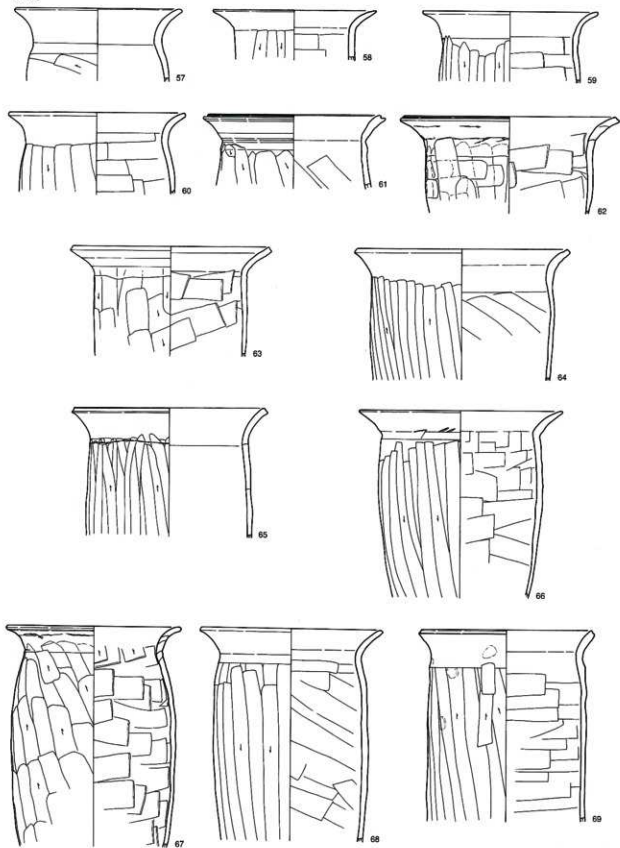
第336図 満跡出土遺物 (12)

SD 762



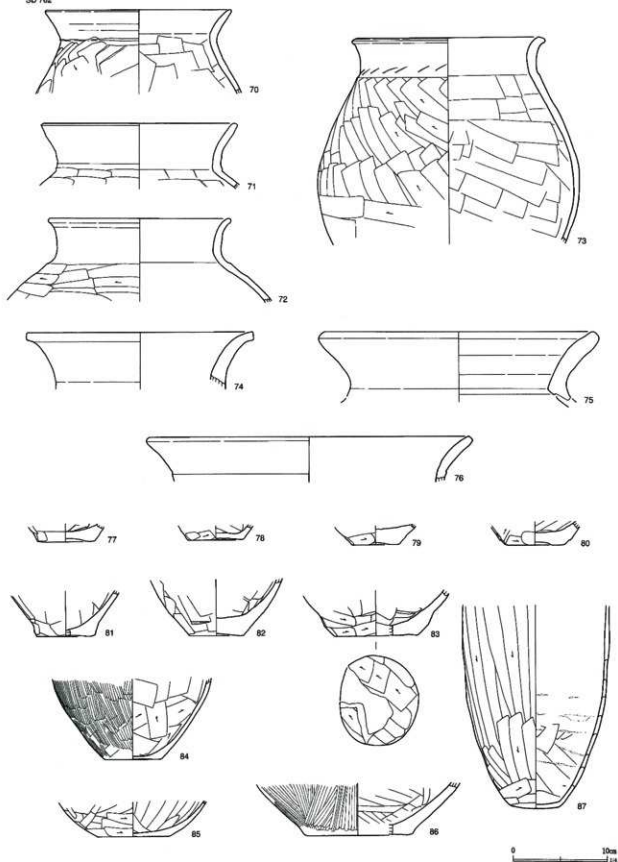
第337图 清跡出土遺物 (13)

SD 782

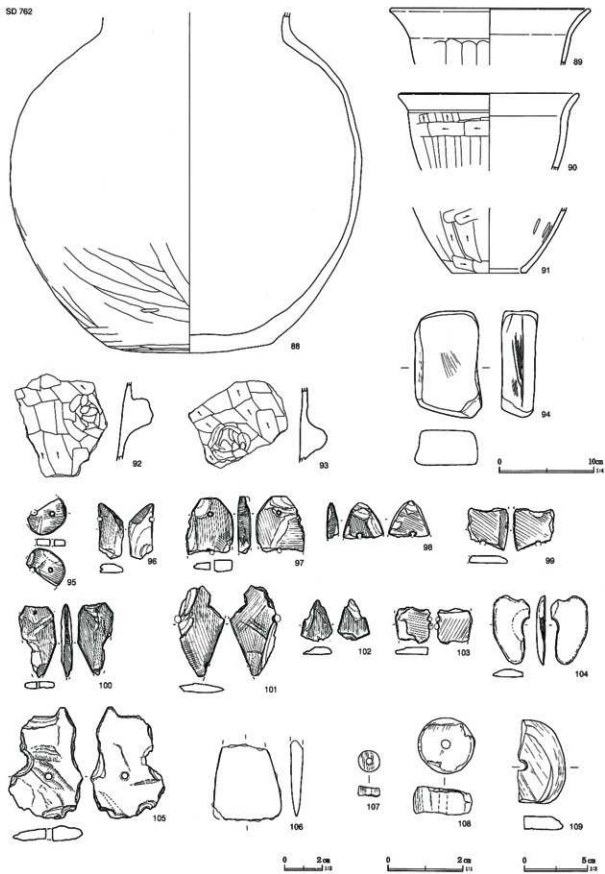


第338图 满跡出土遺物 (14)

SD 762



第339图 清跡出土遺物 (15)



第340图 满跡出土遺物 (16)

47・49は粘土紐の巻上げ痕が内面に明瞭に残る。43～47・50は赤彩が施される。51はミニチュア土器である。52・54～56は小型甕である。57～87は甕である。このうち57～69・87は長胴甕、70～76は丸甕である。78の底面には僅かに木葉痕が残る。88は壺である。89～93は瓶である。94は砥石である。95～105は石製模造品である。95は有孔門板、96～101は銅形品、104は勾玉形未製品である。106は鉄製鑿である。刃部の一部が欠けている。107・108は白玉、109は石製紡錘車である。

本溝跡からは、多量の土師器・須恵器が出土したが、破片がまとまって検出されることが多く、このため接合率が高い。本溝跡が廃棄の場所であったと考えられる。M-35グリッド付近では大量の土師器・壺がまとまって出土した。こうした状況は第2次調査の第80号溝跡でも見られ、同時期である。

第763号溝跡（第319図）

L-32・33グリッドにかけて検出された。

南北方向にやや蛇行して延びる溝跡であった。

北側は第753号溝跡、南側は第762号溝跡と重複していた。

規模は、全長7.5m、幅70～145cm、深さは78～86cmであった。

出土遺物は、第322図15～17に図示した。16は白玉、17は石製勾玉である。

第764号溝跡（第326図）

L・M-35、N-34・35、O・P-34グリッドにかけて検出された。

谷部北側を東西方向に直線的に延びる細長い溝跡であった。

東側及び北側は調査区内で途切れていた。本溝跡の北側80cmの位置に第766号溝跡が並行して走っていた。いずれの溝跡も谷部の稜線に並行して掘削されたと考えられる。

規模は、全長44.63m、幅20～30cm、深さは3～17

cmであった。

遺物は、第322図18の鉄製釘が出土した。

第765号溝跡（第326図）

O-34・35、P-34グリッドにかけて検出された。

調査区東寄りを東西方向に直線的に延びる細い溝跡であった。

北側で検出された第764号溝跡と並行していた。本溝跡も谷地形の稜線に並行して作られたものと考えられる。

規模は、全長10.5m、幅13～30cm、深さは6～11cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第766号溝跡（第326図）

L・M-35、N-34・35、O・P-34グリッドにかけて検出された。

谷部北側を東西方向に直線的に延びる細長い溝跡であった。

東側及び北側は調査区内で途切れていた。本溝跡の南側80cmの位置に第764号溝跡が並行して走っていた。また東端は調査区域外へ延びていた。

規模は、全長41.5m、幅20～65cm、深さは3～5cmであった。

遺物は、土師器瓶・壺の破片が少量出土した。

第767号溝跡（第326図）

N-34、O-34・35グリッドにかけて検出された。

調査区東寄りに位置し、北西から南東方向に斜めに延びる細い溝跡であった。

本溝跡は、第346号住居跡の南東コーナー部分の周溝から連続して延びていた。このことから、住居跡に伴う排水溝と思われる。また南東端は谷部に繋がりが、排水したものと考えられる。

規模は、全長15.5m、幅25～50cm、深さは9～21cmであった。

遺物は、土師器壺・壺の破片などが少量出土した。

第768号溝跡 (第326図)

N-34、O-35グリッドで検出された。

谷部北側に位置し、東西方向に直線的に延びる溝跡であった。

東側は調査区域外へと延び、西側は緩やかに立ち上がり途切れる。本溝跡の西側12mの位置に、第784号溝跡を検出し、この溝跡と連続する可能性がある。

規模は、全長7.13m、幅35～60cm、深さは8～12cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第769号溝跡 欠番 (第17号方形周溝墓に変更)

第770号溝跡 欠番 (第16号方形周溝墓に変更)

第771号溝跡 欠番 (第16号方形周溝墓に変更)

第772号溝跡 欠番 (第16号方形周溝墓に変更)

第773号溝跡 欠番 (第16号方形周溝墓に変更)

第774号溝跡 (第319図)

K-33グリッドで検出された。

調査区の西端で検出された、東西方向に延びる短い溝跡であった。

西側は調査区域外へ延び、東側には規模の類似した第776号溝跡が直行して延びていた。

規模は、全長1.75m、幅45～95cm、深さは15～28cmであった。

遺物は、土師器破片が少量出土した。

第775号溝跡 (第326図)

K-34グリッドで検出された。

調査区西端で検出された、北西から南東方向に斜めに延びる溝跡であった。

北側は調査区域外へ延び、南側は第753号溝跡に切られていた。第4次調査西区で検出された溝跡と同一遺構と考えられる。

規模は、全長3.5m、幅55～95cm、深さは38～46cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第776号溝跡 (第319図)

K-33グリッドで検出された。

調査区西寄りに位置し、北東から南西方向に延びる短い溝跡で、第753号溝跡に切られていた。

規模は、全長2.4m、幅50～88cm、深さは21～26cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第777号溝跡 (第326図)

L・M-35グリッドにかけて検出された。

東西方向に延びる細長い溝跡であった。

東側には第762号溝跡が位置し、西側は第745号溝跡と重複していた。また、本溝跡の南側には第764・766・778号溝跡が並行して走っていた。

規模は、全長9.25m、幅15～50cm、深さは6～17mであった。

遺物は、出土しなかった。

第778号溝跡 (第326図)

L・M-35グリッドにかけて検出された。

東西方向に延びる細く短い溝跡であった。

東側には第762号溝跡が位置し、西側には第745号溝跡が位置していた。

規模は、全長7.13m、幅13～23cm、深さは5cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第779号溝跡 (第326図)

O-33～35、P-35グリッドにかけて検出された。

調査区東寄りに位置し、南北方向にやや蛇行して延びる細長い溝跡であった。

北側は第333号住居跡、南側は第778号溝跡と重複していた。本溝跡の北側で検出された第751号溝跡と連続する可能性がある。

規模は、全長15.75m、幅25～40cm、深さは11～23cmであった。

遺物は、第322図19に図示した白玉が出土した。

第780号溝跡 (第326図)

N-35グリッドで検出された。

谷部北側に位置し、谷地形に並行して東西方向に延びる幅広い溝跡であった。

規模は、全長6.38m、幅60~125cm、深さは7~14cmであった。

遺物は、ほとんど検出されなかった。

第781号溝跡 (第326図)

L-35・36グリッドにかけて検出された。

東西方向に延びる短い溝跡であった。東側は第745号溝跡に切られていた。

規模は、全長1.4m、幅30~38cm、深さは7cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第782号溝跡 (第326図)

K・L-35グリッドにかけて検出された。

調査区西端に位置し、東西方向に延びる溝跡であった。西側は調査区域外へ延びていた。

規模は、全長2.5m、幅125cm、深さは40~71cmであった。

遺物は、土師器高坏の破片などが出土した。

第783号溝跡 (第326図)

L-35・36グリッドにかけて検出された。

谷部北側で検出された。南北方向に延び、谷部側で西側に「L」字状に屈曲して延びる溝跡であった。北側では第777号溝跡と重複し、南側は第760号溝跡に切られていた。

規模は、全長12.5m、幅18~50cm、深さは12~18cmであった。

遺物は、第322図20に図示した土師器鉢が出土した。この他、須恵器甕の破片などが少量出土した。

第784号溝跡 (第326図)

L-36・37、M・N-36グリッドにかけて検出さ

れた。

谷部の北側斜面部で検出した東西方向に延びる細長い溝跡であった。西側は谷部に落ち込み、東側は第762号溝跡と重複していた。

規模は、全長15.88m、幅35~50cm、深さは5~13cmであった。

遺物は、須恵器甕の破片などが少量出土した。

第785号溝跡 欠番 (第18号方形周溝墓に変更)

第786号溝跡 (第341図)

L-37グリッドで検出された。

谷部の北側斜面部で検出した東西方向に延びる溝跡であった。

西側は調査区域外に延びていた。東側は第768・784号溝跡と連続していた可能性がある。

規模は、全長4.63m、幅45~58cm、深さは17~20cmであった。

遺物は、出土しなかった。

第787号溝跡 欠番 (第17号方形周溝墓に変更)

第788号溝跡 欠番 (第17号方形周溝墓に変更)

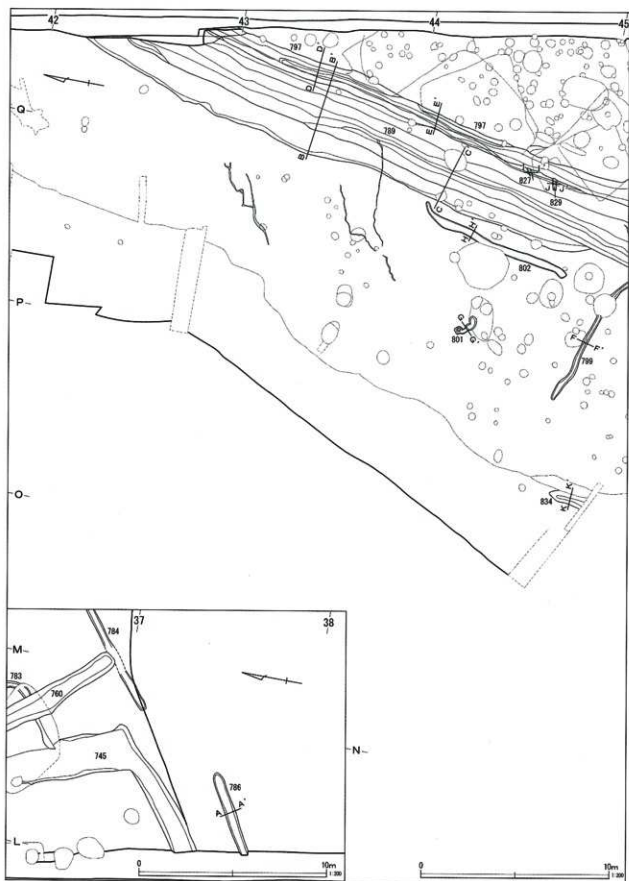
第789号溝跡 (第341・345・370図)

Q-42~45・47・48、P-44~48グリッドにかけて検出された。

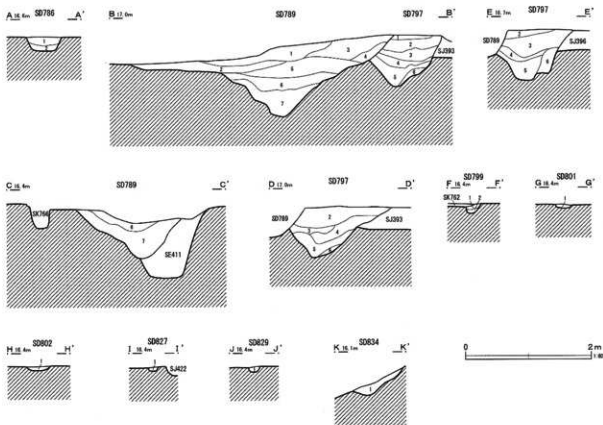
谷部南側の東肩部で検出された。谷地形に沿って南北方向に延び、調査区南端で東側に「L」字状に屈曲する規模の大きな溝跡であった。北側及び南側はいずれも調査区域外へ延びていた。

規模は、全長67.75m、幅100~370cm、深さは35~93cmであった。

出土遺物は、第343・344図1~28に図示した。1・2は青磁碗、3は青白磁の碗、4~7は常滑甕の破片である。8・9は在地産の片口鉢である。10は砥石、11は鉄製釘、12は木製楔である。13~28は銭貨である。



第341图 沟迹 (11)



- 第786号溝跡 (A-A')
- | | | |
|-----------|---------|-------------------|
| 1 黒褐色土 | 2.573/1 | 炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量 |
| 2 灰オリーブ色土 | 815/3 | 炭化物粒子 (φ1~2mm) 少量 |
- 第789号溝跡 (B-B'・C-C')
- | | | |
|-------------|---------|--|
| 1 灰オリーブ粘質土 | 578/2 | 鉄分多量 浅い溝 |
| 2 暗青灰色土 | 584/1 | 鉄分多量 緑灰色土粒子 (φ1~2mm) 少量 浅い溝 |
| 3 黒褐色土 | 1078/1 | 鉄分多量 黄褐色土粒子 (φ1mm)・炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 |
| 4 黒褐色土 | 2.473/3 | 黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 多量 (地山崩落土) |
| 5 灰色粘質土 | N4/0 | 鉄分多量 緑灰色土粒子 (φ1~2mm)・緑灰色土ブロック (φ3~5mm) 少量 |
| 6 灰色粘質土 | 1074/1 | 緑灰色土ブロック (φ3~20mm) 多量 鉄分・炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 |
| 7 オリーブ黒色シルト | 1073/1 | 緑灰色土粒子 (φ1~2mm)・炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 |
- 第797号溝跡 (B-B'・D-D'・E-E')
- | | | |
|---------|---------|--------------------------------------|
| 1 黒褐色土 | 10783/1 | 黄褐色土ブロック (φ3~5mm) 多量 |
| 2 明黄褐色土 | 10787/6 | 黄褐色土を主体 黒色土ブロック (φ3~20mm) 多量 |
| 3 黒褐色土 | 10783/2 | 黄褐色土ブロック (φ3~20mm)・炭化物粒子 (φ2~3mm) 少量 |
| 4 明黄褐色土 | 10787/6 | 黄褐色土を主体 黒色土ブロック (φ3~20mm) 多量 |
| 5 黒色粘質土 | 1.572/1 | 黄褐色土ブロック (φ3~10mm) 少量 |
| 6 明黄褐色土 | 2.577/6 | 黄褐色土を主体に含む (地山崩落土) |

- 第799号溝跡 (F-F')
- | | | |
|---------|----------|------------------------------------|
| 1 黄褐色土 | 10785/1 | 黄褐色土粒子 (φ5~10mm) 多量 土器小片含む しまりややあり |
| 2 濃い褐色土 | 7.5785/3 | 黄褐色土粒子 (φ10mm) 含む しまりややあり |
- 第801号溝跡 (G-G')
- | | | |
|-------|---------|---------------------------------|
| 1 黒色土 | 10782/1 | 粘土粒子含む 黄褐色土ブロック (φ5mm) 少量 しまりあり |
|-------|---------|---------------------------------|
- 第802号溝跡 (H-H')
- | | | |
|--------|---------|-----------------|
| 1 黒褐色土 | 10783/2 | 混入物ほとんどなし しまりあり |
|--------|---------|-----------------|
- 第827号溝跡 (I-I')
- | | | |
|--------|---------|------------------------------|
| 1 暗褐色土 | 10783/4 | 灰褐色土ブロック (φ10~20mm) 含む しまり弱い |
|--------|---------|------------------------------|
- 第829号溝跡 (J-J')
- | | | |
|--------|---------|------------------------------|
| 1 暗褐色土 | 10783/3 | 黄褐色土ブロック (φ10~20mm) 多量 しまり弱い |
|--------|---------|------------------------------|
- 第834号溝跡 (K-K')
- | | | |
|--------|------|---|
| 1 暗褐色土 | N2/0 | 暗褐色粘質土主体 青灰色土粒子 (φ2mm) 多量 炭化物粒子 (φ1~10mm) 少量 しまりあり 粘泥ややあり |
|--------|------|---|

第342図 溝跡 (12)

第790号溝跡 (第345図)

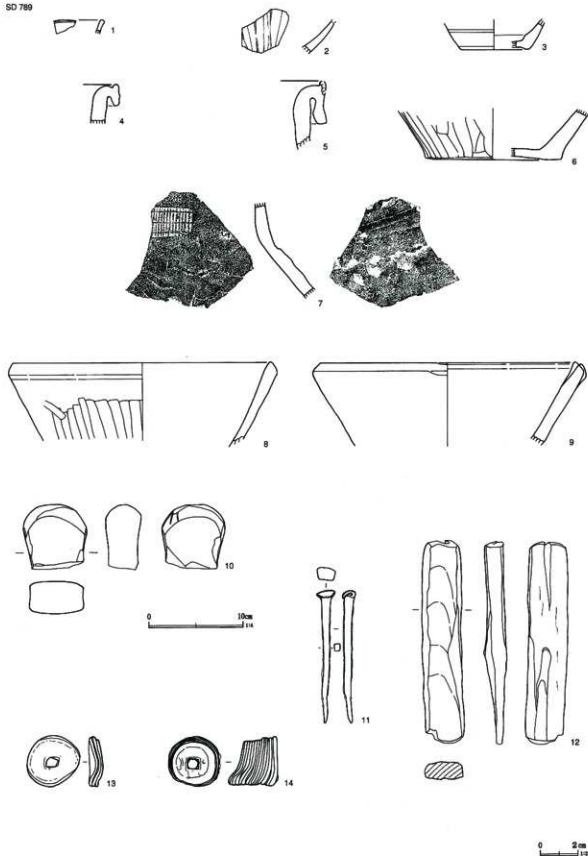
M-48・49グリッドにかけて検出された。東西方向に延びる短い溝跡であった。調査区南西コーナー付近に位置し、南北方向に緩やかな弧を描いて延びる溝跡であった。北側は第793号溝跡、東側は第792・798号溝跡、南側は第791号溝跡と重複していた。西側は調査区域外

へ延びていた。また、本遺構などを切って東西方向に走る噴砂が検出された。溝跡同士の重複が著しく、性格は不明である。

規模は、全長4.5m、幅25~35cm、深さは10~28cmであった。

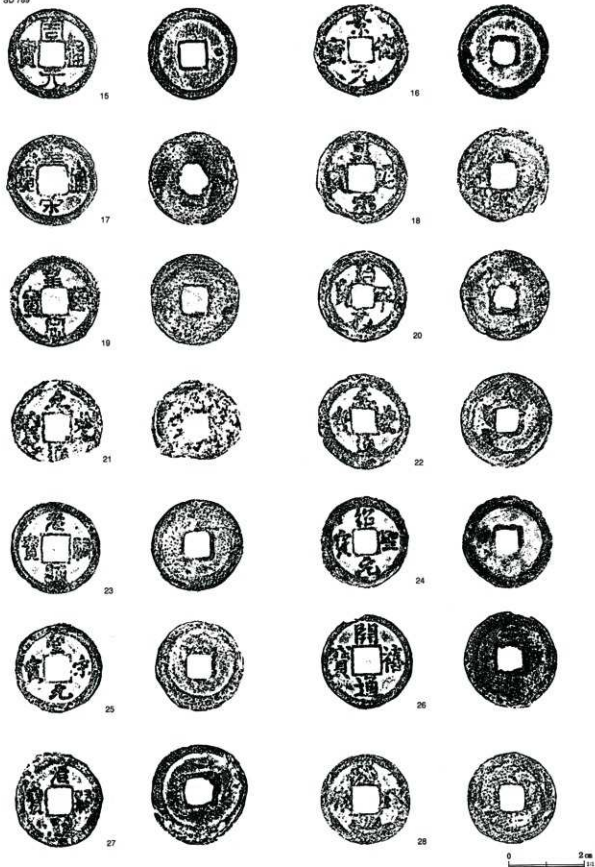
遺物はほとんど出土しなかったため、本溝跡の時期は不明である。

SD 789

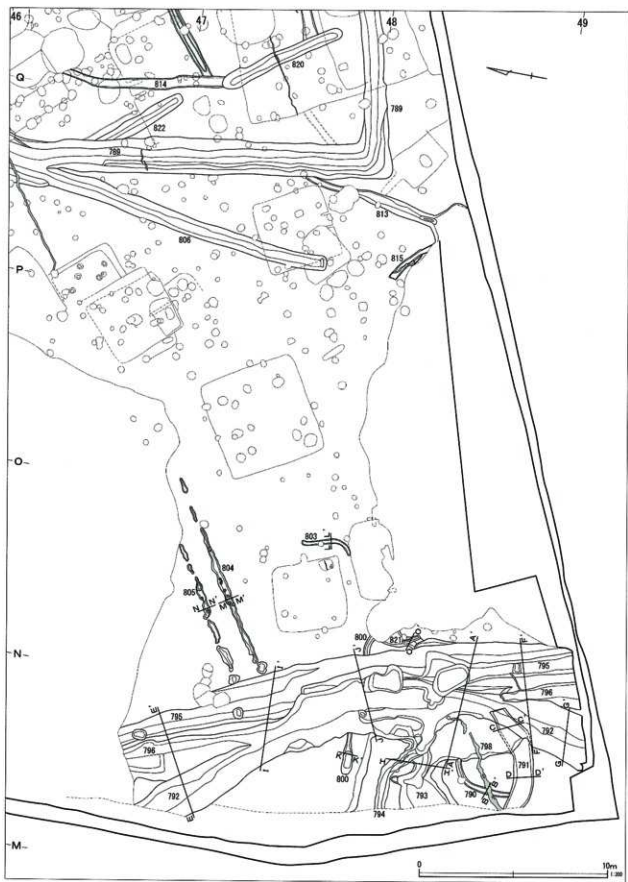


第343图 清跡出土遺物 (17)

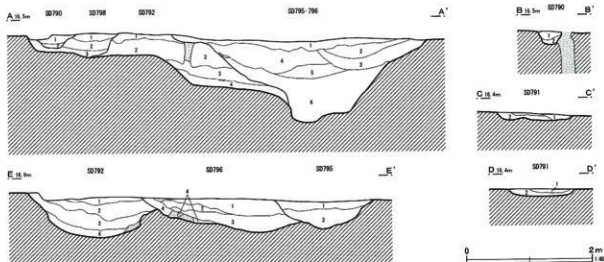
SD 789



第344图 清跡出土遺物 (18)



第345図 溝跡 (13)



第790号溝跡 (A-A'・B-B')

- | | | |
|---------|----------|---|
| 1 黒褐色土 | 2. 5Y3/2 | 暗茶褐色っぽい黒褐色のしまりある土で多少シルト質土。しまりあり。粘性弱い。 |
| 2 暗青灰色土 | 5B3/1 | 暗青灰色(黄褐色土)の変色のしまりある土主体。層上面に厚に1層の上含む。しまりややあり。粘性あり。 |

第792号溝跡 (A-A')

- | | | |
|-----------|----------|---|
| 1 オリーブ黒色土 | 2. 5Y4/3 | 青褐色のしまりある土主体。暗茶褐色土少量。しまりあり。粘性なし。 |
| 2 暗青灰色土 | 2. 5Y4/1 | 暗青灰色シルト主体。暗灰色粘質土少量。しまりあり。粘性ややあり。 |
| 3 暗灰色土 | N3/0 | 暗灰色粘質土主体。炭化物ブロック(φ5mm)散在含む。しまり。粘性ややあり。 |
| 4 暗灰色土 | N3/0 | 3層より暗い暗灰色シルト・青灰色土ブロック(φ5~20mm)多量。暗灰色粘土・炭化物ブロック(φ10mm)少量。しまりなし。粘性あり。 |

第795・796号溝跡 (A-A')

- | | | |
|-----------|----------|---|
| 1 灰色土 | 7. 5Y4/1 | 暗灰色のしまりある土主体。暗灰色シルト含む。しまりあり。粘性なし。 |
| 2 黒色土 | K2/0 | 群青色っぽいしまりのある粘質土。しまりあり。粘性ややあり。 |
| 3 オリーブ黒色土 | 7. 5Y3/2 | ややオリーブがかかった暗灰色粘質土・暗色シルト多量。混れ込むように炭化物の粒が散在する。しまり。粘性ややあり。 |
| 4 暗灰色土 | K3/0 | 少し明るめの暗灰色粘質土主体。暗色シルト少量。炭化物ブロック(φ5mm)散量。しまり。粘性ややあり。 |
| 5 暗灰色土 | N3/0 | 4層と同色の暗灰色粘土主体。炭化物ブロック(φ10mm)多量。しまりなし。粘性あり。 |
| 6 暗灰色土 | K3/0 | 暗灰色粘土主体。(4~5層よりやや暗い)炭化物ブロック(φ5~20mm)混に含む。黄灰色土粒子(φ5mm)少量。層上部に青灰色土少量。壁から混れ込むように入る。しまりなし。粘性あり。 |

第796号溝跡 (A-A')

- | | | |
|--------|----------|---|
| 1 黒褐色土 | 2. 5Y3/2 | 暗茶褐色のしまりある土。しまりあり。粘性ややあり。 |
| 2 暗灰色土 | N3/0 | 群青色っぽい暗灰色のしまりある粘質土。青灰色土粒子(φ3~5mm)少量。炭化物ブロック(φ5mm)散量。しまりあり。粘性ややあり。 |
| 3 暗灰色土 | N3/0 | 2層より少し暗い群青色っぽい暗灰色粘質土主体。暗色シルト少量。しまり。粘性ややあり。 |

第791号溝跡 (C-C'・D-D')

- | | | |
|--------|----------|---|
| 1 黒褐色土 | 2. 5Y3/2 | 暗茶褐色っぽい黒褐色のしまりある土で多少シルト質土。しまりあり。粘性弱い。 |
| 2 黒褐色土 | 2. 5Y3/2 | 暗茶褐色っぽい黒褐色のしまりある土で多少シルト質土。黄褐色土粒子(φ3~5mm)少~中量。しまりあり。粘性ややあり(1層よりはる) |

第792号溝跡 (E-E')

- | | | |
|-----------|----------|---|
| 1 黒色土 | 7. 5Y2/1 | 黒っぽい暗灰色のしまりある粘質土主体。白色粒子(φ1mm)小~中量。しまりあり。粘性ややあり。 |
| 2 オリーブ黒色土 | 7. 5Y3/1 | 暗灰色粘質土主体。青灰色土ブロック(φ50mm以上)多量。炭化物ブロック(φ20mm)少量。しまりあり。粘性ややあり。 |
| 3 オリーブ黒色土 | 7. 5Y3/1 | 暗灰色粘土主体。青灰色粒子(φ1~2mm)少量。しまり。粘性ややあり。 |
| 4 オリーブ黒色土 | 7. 5Y3/1 | 暗灰色粘土・暗色シルト多量。青灰色土混に含む。しまりややあり。粘性あり。 |

第795号溝跡

- | | | |
|--------|------|--|
| 1 暗灰色土 | N3/0 | ややしまりのある暗灰色粘質土主体。青灰色土(φ795 1-1')の2層に相当。 |
| 2 暗灰色土 | N3/0 | 1層よりやや暗い暗灰色粘質土主体。炭化物粒子(φ2mm)・粘灰色土粒子(φ3~5mm)少量。しまり弱い。粘性あり(φ795 1-1'の3層に相当)。 |

第796号溝跡

- | | | |
|-----------|----------|---|
| 1 灰色土 | 7. 5Y4/1 | 暗灰色粘質土主体。炭化物粒子(φ2mm)下の方に少量。しまり。粘性ややあり(φ796 1-1'の1層に相当)。 |
| 2 灰色土 | 7. 5Y4/1 | 暗灰色粘質土主体。青灰色土ブロック(φ5~10mm)混に含む。しまり。粘性ややあり(φ792 1-1'の2層に相当)。 |
| 3 灰色土 | 7. 5Y4/1 | 1・2層よりやや暗めの暗灰色粘土主体。炭化物粒子(φ1~5mm)混に含む。しまりなし。粘性あり。 |
| 4 オリーブ黒色土 | 7. 5Y3/1 | 黒っぽい暗灰色粘質土主体。青灰色土中~多量。暗灰色粘質土少量。層上部に混に含む。しまりなし。粘性あり。 |

第346図 溝跡 (14)

第791号溝跡 (第345図)

M・N-49グリッドにかけて検出された。

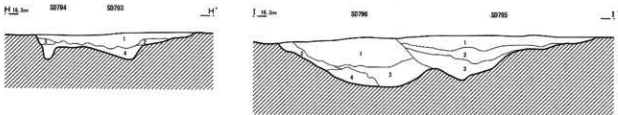
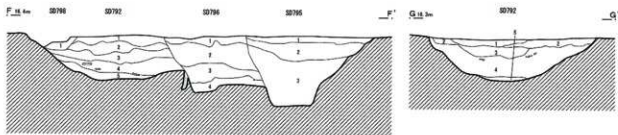
調査区南西コーナー部に位置し、東西方向に蛇行して延びるやや幅広の浅い溝跡であった。

西側は調査区域外へと延びていた。東側は第792号溝跡、北側は第790・798号溝跡と重複しており、本

遺構が新しくなった。すぐ北側には噴砂が東西方向に走っていた。

規模は、全長5.38m、幅75~112cm、深さは8~14cmであった。

遺物は、ほとんど出土しなかったため、本溝跡の詳細な時期は不明である。



第792号遺跡 (F-F')

- | | | |
|---------|---------|--|
| 1 黄褐色土 | 2.5Y5/4 | 黄褐色のしまりある土 (φ20mm)・暗茶褐色土面に含む しまりあり 粘性強い (SD792G-G'の1・2層に相当) |
| 2 暗茶褐色土 | 5B4/1 | 黄褐色土 (黄褐色土の黄色)・暗灰色粘質土・酸化鉄に含む しまりあり 粘性強い (SD792G-G'の3層に相当) |
| 3 黒色土 | 2.5G2/1 | 暗灰色粘質土主体 暗灰色シルト・酸化鉄少量 しまりあり 粘性弱い (SD792G-G'の4層に相当) |
| 4 暗灰色土 | N3/0 | 3層より濃い暗灰色粘質土主体 暗灰色土ブロック (もろい土層のようなもの・φ10~30mm) 少量 しまりややあり 粘性あり (SD792G-G'の4層に相当) |
| 5 黒色土 | 2.5G2/1 | 3層と同じ色の暗灰色シルト多量 暗灰色粘質土少量 炭化物ブロック (φ5mm) 微量 しまりなし 粘性あり (SD792G-G'の5層に相当) |

第796号遺跡

- | | | |
|------------|---------|---|
| 1 暗茶褐色土 | 2.5Y3/2 | 暗茶褐色のしまりある粘質土 しまりあり 粘性強い (SD796 I-1'の1層の上の階層上の土に相当) |
| 2 暗オリーブ灰色土 | 2.5G3/1 | 暗灰色のしまりのややある粘質土主体 酸化鉄面に含む 1層の土少量 層上面に しまりややあり 粘性あり |
| 3 黒色土 | 2.5G2/1 | 2層より暗・暗灰色粘質土主体 炭化物粒子 (φ1~2mm) 含む しまりややあり 粘性あり (SD796 I-1'の3層に相当) 第3層上層某部分ではレンズ状 (薄片) に炭化物の層が3~4cmみられる |

第796号遺跡

- | | | |
|------------|---------|--|
| 1 暗オリーブ褐色土 | 2.5Y3/3 | 暗茶褐色のしまりある土 しまりあり 粘性弱い |
| 2 暗灰色土 | N3/0 | 暗灰色のしまりある粘質土 少し1層の土が混入して暗茶褐色土に変わっている部分あり 炭化物ブロック (φ15mm)・青灰色土粒子 (φ2mm) 少量 しまりややあり 粘性あり (SD796A-A'の1層に相当) |
| 3 黒色土 | N2/0 | 暗褐色に少し暗灰色の粘質土 青灰色土粒子 (φ2~5mm) 混む 炭化物ブロック (φ3mm) 少量 しまりややあり 粘性あり (SD796A-A'の3層に相当) |
| 4 黒色土 | N2/0 | 3層と同じ暗灰色粘質土 青灰色土ブロック (φ5mm) 中~多量 しまりややあり 粘性あり |

第798号遺跡

- | | | |
|--------|---------|--------------------------|
| 1 黄褐色土 | 2.5Y3/2 | 暗茶褐色のしまりある土 しまりあり 粘性ややあり |
|--------|---------|--------------------------|

第792号遺跡 (G-C')

- | | | |
|------------|----------|--|
| 1 にぶい黄褐色土 | 2.5Y5/3 | 炭化物ブロック (φ5~10mm) 少量 しまり・粘性あり |
| 2 暗オリーブ褐色土 | 2.5Y3/3 | にぶい黄褐色土ブロック (φ5~10mm) 少量 白色粘粒子 (φ1~2mm) 微量 しまり・粘性あり 粘質土 青灰色粘土ブロック状に含む 白色粒子 (成分不明) (φ1~5mm) 均等に少量 炭化物ブロック (φ5~10mm) 微量 しまりあり 粘性強い |
| 3 青黒色土 | 10B2/1 | 粘質土 青灰色粘土粒子 (φ1~2mm) 微量 しまりあり 粘性強い |
| 4 青黒色土 | 10B1.7/1 | 粘質土 青灰色粘土土ブロック (φ5~10mm) 少量 しまりあり 粘性強い |
| 5 青黒色土 | 10B1.7/1 | 粘質土 青灰色粘土土ブロック (φ5~10mm) 少量 しまりあり 粘性強い |

第793・794号遺跡 (H-I')

- | | | |
|---------|---------|--|
| 1 黄褐色土 | 2.5Y3/2 | 黒っぽい暗黄褐色のしまりある粘性のややある土 (シルト質土) 黄褐色土粒子 (φ3mm) 少量 しまりあり 粘性弱い |
| 2 黒褐色土 | 2.5Y3/2 | 黒っぽい暗黄褐色のしまりある粘性のややある土 (シルト質土) 黄褐色土粒子 (φ2~20mm) 多量 (ローム粒子の方が主体) しまりあり 粘性弱い |
| 3 暗褐色土 | 2.5Y3/2 | 暗茶褐色のしまりある土 しまりあり 粘性なし |
| 4 暗青灰色土 | 5B3/1 | 暗青灰色粘質土 しまり・粘性ややあり |

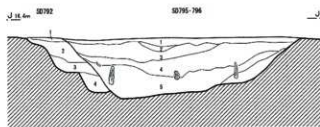
第795号遺跡 (I-1')

- | | | |
|--------|------|--|
| 1 暗灰色土 | N3/0 | 暗灰色のしまりのややある粘質土 (層上面に暗茶褐色土に黄色し土が階層上少量堆積) しまり・粘性ややあり |
| 2 暗灰色土 | N3/0 | 暗灰色のしまりのややある粘質土 青灰色土 (φ2~20mm) 含む 面に層の真中あたり しまり・粘性ややあり |
| 3 暗灰色土 | N3/0 | 1・2層よりやや暗い暗灰色粘質土 褐色土粒子 (φ1~2mm) 含む 層全体に散在 炭化物粒子 (φ2mm) 少量 しまり弱い 粘性強い |

第796号遺跡

- | | | |
|-----------|---------|--|
| 1 暗灰色土 | N3/0 | 暗灰色粘質土 (色はSD795の1・2層に同じ) 暗灰色のしまりのややある粘質土 (φ1mm) 含む 層下部に散在 炭化物ブロック (φ5~10mm) 少量 層上部は粘質土が細かい (φ1~3mm) しまり弱い 粘性強い |
| 2 暗灰色土 | N3/0 | 1層と同じ粘質土 青灰色土粒子 (φ1mm) 含む 層下部に散在 炭化物ブロック (φ5~10mm) 少量 層上部は粘質土が細かい (φ1~3mm) しまり弱い 粘性強い |
| 3 暗灰色土 | N3/0 | SD795の層と同じ色の粘質土 青灰色土粒子 (φ1mm) 少量 しまり弱い 粘性ややあり |
| 4 オリーブ灰色土 | 2.5G5/1 | オリーブ灰色の粘質土 炭化物ブロック (φ20~50mm) 混む 未耕片少々 暗灰色粘質土少量 しまり弱い 粘性ややあり |

第347回 溝跡 (15)

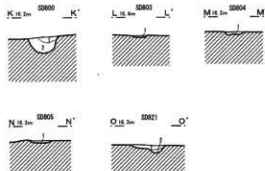


第792号溝跡 (J-J')

- | | | | |
|---|---------|-------|---|
| 1 | オリーブ黒色土 | 5T3/2 | 酸化鉄を含む 暗灰色のしまりある土主体 暗灰色シルト・褐色土粒子(φ3mm)少量 しまりあり 粘性なし |
| 2 | 暗灰色土 | X3/0 | 暗灰色粘質土主体 酸化鉄を含む 炭化物ブロック(φ5mm)少量 しまりあり 粘性ややあり (SD796 I-1'の1層に相当) |
| 3 | 暗灰色土 | X3/0 | 暗灰色粘質土主体 青灰色土少量 レンズ状に産(堆山からの流れ込み) しまりややあり 粘性あり (SD796 I-1'の2層に相当) |
| 4 | 暗灰色土 | X3/0 | 2-3層より少し暗・暗灰色粘質土主体 炭化物ブロック(φ10mm)少量 しまりややあり 粘性あり |

第795・796号溝跡

- | | | | |
|---|---------|-------|---|
| 1 | オリーブ黒色土 | 5T3/2 | 暗灰色のしまりある土主体 暗灰色シルト少量 しまりあり 粘性なし |
| 2 | オリーブ黒色土 | 5T3/2 | 暗灰色のしまりある土主体 暗灰色シルト少量 炭化物粒子(φ3mm)少量 しまりあり 粘性強い |
| 3 | 暗灰色土 | X3/0 | 暗灰色粘質土少量 暗灰色シルト少量 黄灰色シルトブロック(φ3-5mm)少量 層下面にレンズ状に含む しまりあり 粘性ややあり (SD795 I-1'の1層に相当) |
| 4 | 暗灰色土 | X3/0 | 暗灰色粘質土主体 炭化物粒子(φ3mm)少量 しまりややあり 粘性あり |
| 5 | 暗灰色土 | X3/0 | 3・4層と同色の暗灰色粘質土主体 炭化物粒子(φ3-10mm)中・多量 青灰色土粒子(φ1-2mm)・褐色土粒子(正形不明)(φ5-10mm)少量 しまりややあり 粘性あり (SD795 I-1'の3層に相当) |
| 6 | 黒色土 | X3/0 | 3-5層より暗・暗灰色粘質土主体 青灰色土少量 帯状に流れ込みによる(堆山崩落と思われる)炭化物少量 しまりややあり 粘性あり |



第800号溝跡 (K-K')

- | | | | |
|---|------|-------|---|
| 1 | 暗灰色土 | 5G3/1 | 暗灰色の粘質土 しまり・粘性ややあり |
| 2 | 暗灰色土 | X3/0 | 暗灰色の粘質土主体 暗灰色土粒子(φ1mm)底に含む 炭化物粒子(φ3mm)少量 しまりなし 粘性あり |

第803号溝跡 (L-L')

- | | | | |
|---|------|---------|--------------------------------------|
| 1 | 暗灰色土 | 2.5T4/2 | 暗灰色のしまりある土 黄褐色土粒子(φ3mm)少量 しまりあり 粘性なし |
|---|------|---------|--------------------------------------|

第804・805号溝跡 (M-M'・N-N')

- | | | | |
|---|------|---------|---|
| 1 | 黄灰色土 | 2.5T4/1 | 少し暗めの黄灰色の粘性のややある土 オリーブ黄灰色シルト少量 しまり・粘性ややあり |
|---|------|---------|---|

第821号溝跡 (O-O')

- | | | | |
|---|---------|---------|---|
| 1 | オリーブ黒色土 | 5T3/2 | 黄褐色土粒子(φ1-2mm)少量 炭化物粒子(φ1-2mm)少量 しまり・粘性あり |
| 2 | オリーブ黒色土 | 7.5T3/1 | 暗灰色土粒子(1-2mm)少量 しまり・粘性あり |

第348図 溝跡 (16)

第792号溝跡 (第345・349-355図)

M-47-49, N-48・49グリッドにかけて検出された。

調査区南西コーナー付近を南北方向に緩やかに弧を描きながら延びる溝跡であった。北側は谷部に接し、調査区域外へと延びていた。南側も調査区域外へと延びていた。本溝跡の東側には第795・796号溝跡が南北方向に接するように並行して延びていた。溝跡の切り合い関係は、第795・796号溝跡に切られると考えられる。

規模は、全長25m、幅125~250cm、深さは12~48cmであった。

出土遺物は、第356・357図1~47に図示した。1~41はかわかけ皿で、大きさに二種類ある。1~11は小型の皿、17~41は大型の皿である。6・21は手づくねである。その他はロクロ挽きで、底部調整は回転糸切りされている。底部未調整のものも少数み

られる。44は常滑甕である。45は石製の管玉で、本遺構に伴わない混入品である。46・47は木製品である。46は裏面全面が被熱した板材、47は先端部に加工が施された杭である。

第793号溝跡 (第345図)

M-48・49グリッドで検出された。

東西方向に延びる幅広の溝跡であった。調査区南西コーナー付近に位置し、東西方向に蛇行して延びる溝跡であった。

西側は調査区域外へ延び、東側は第792・794・798号溝跡と重複していた。本溝跡の東側で検出された第798号溝跡と連続する可能性がある。

規模は、全長3m、幅75~250cm、深さは15~28cmであった。

出土遺物は、第373図1~3に示した。1・2はかわかけ皿、3は青磁碗である。

第794号溝跡 (第345図)

M-48グリッドで検出された。

調査区南西コーナー部に位置し、北西から南東方向に蛇行して延びる溝跡であった。

西側は調査区域外へと延び、東側は第792号溝跡と合流していた。

規模は、全長5.25m、幅50~100cm、深さは6~9cmであった。

遺物は、第373図4の常滑壺の底部破片が出土している。

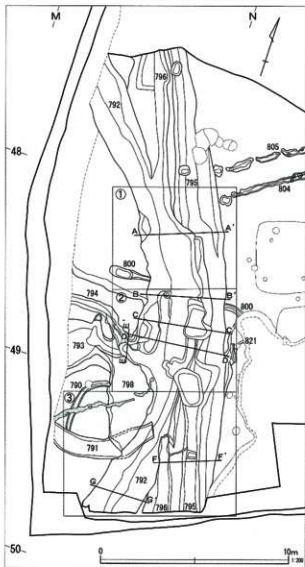
第795号溝跡 (第345・349~355図)

M-47・48、N-47~49グリッドにかけて検出された。

調査区南西コーナー付近を南北方向に延びる規模の大きな溝跡であった。北側は谷部に落ち込み、南側は調査区域外へと延びていた。本溝跡の西側には第792・796号溝跡が南北方向に接するように延びていた。また本溝跡の中央付近には、2条の並行する第804・805号溝跡が重複していた。溝跡の切り合い関係は、本溝跡が最も新しいと考えられるが、中央の重複部分では、第796号溝跡と土層を明瞭に区別することはできなかった。

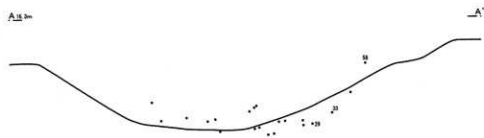
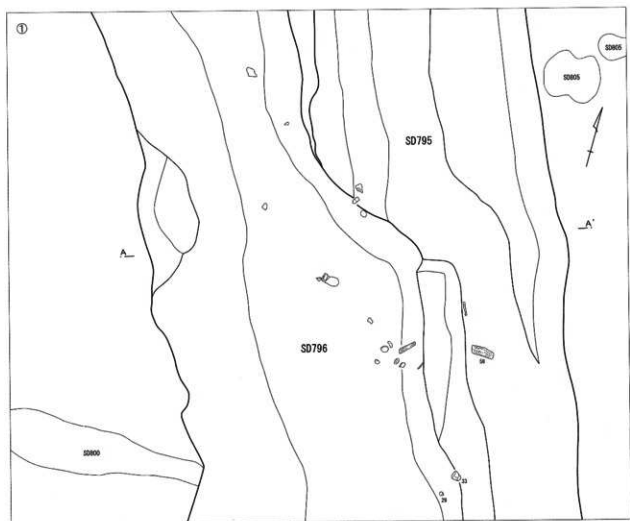
規模は、全長24m、幅75~275cm、深さは27~135cmであった。

第792・796号溝跡と重複する箇所には、角材や杭、竹などが乱雑に多数打ち込まれており、そこから、板材や建築材などの木製品や、かわらけなどの土器が大量に出土した。打ち込まれていた杭の大半は、自然木の先端を削っただけの簡単なものである。その配置に明瞭な規則性はないが、おどぎばな方形(約東西1.8m、南北2.7m)に区画されているようである。杭列の東辺底にあたる部分は深く掘り込まれていた。杭で囲まれた内側からの遺物量は、他の場所に比べて突出しており、木製品は重なり合うように出土している。こうした状況から、溝の一角に杭で囲んだ廃棄場が設けられたものと推定される。

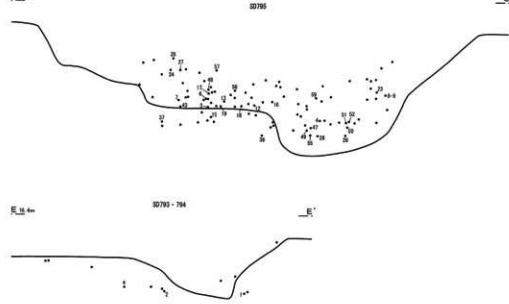
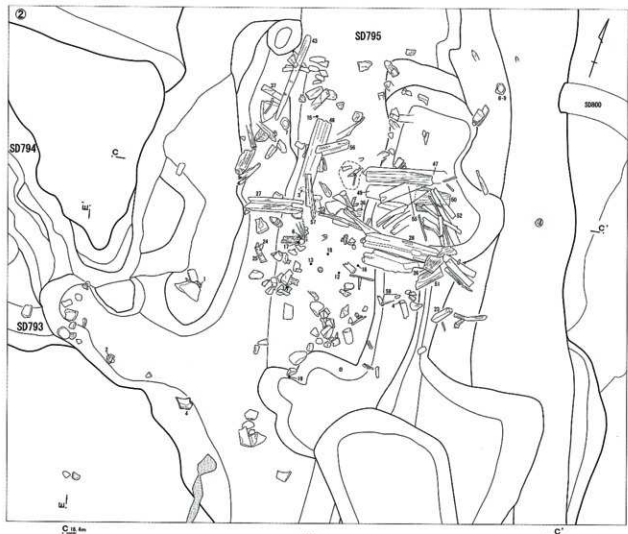


第349図 第792・795・796号溝跡区割り

出土遺物は、第358~368図1~59に図示した。1は青磁碗の口縁部破片である。2~4は手づくね皿、5~9はロクロ成形のかわらけ皿である。10は東海産の片口鉢、11は常滑壺の底部片、12~19は鉄製釘である。20~22は北宋銭である。23~59は木製品である。23・24は先端がU字状に切り込まれた部材である。24は下端を欠損するが、仕口と枘穴が作られる。25は表面に正方形の仕口がある。上部に枘穴、下部には仕口が狭く。24と同種の製品である。26は板材である。中央・下端の円孔、背面にある外形に沿った台形の凹痕・円孔周辺の凹痕など、他材と組み合わせた痕跡がみられる。正面に明瞭な削り痕がみられる。27・28・48・53~56は建築部材の一部で



第350图 第792・795・796号溝跡遺物出土状況(1)



第351图 第792·795·796号满跡遺物出土状況 (2)